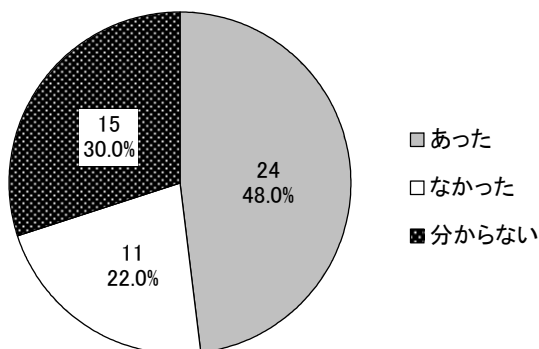


9) 行動の変化

行動の変化が「あった」方は 24 人 (48.0%) で、「なかった」方は 11 人 (22.0%)、「分からない」が 15 人 (30.0%) であった。

(n=50) (人)

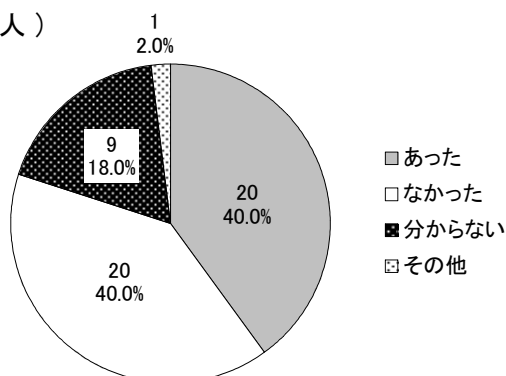


10) 「死にたい」をほのめかす発言の有無

「死にたい」「消えたい」など自殺をほのめかすような発言について、「あった」方は 20 人 (40.0%)、「なかった」方は 20 人 (40.0%)、「分からない」は 9 人 (18.0%) であった。

男女別にみると、女性は「あった」が 10 人 (71.4%) と多かった。

(n=50) (人)



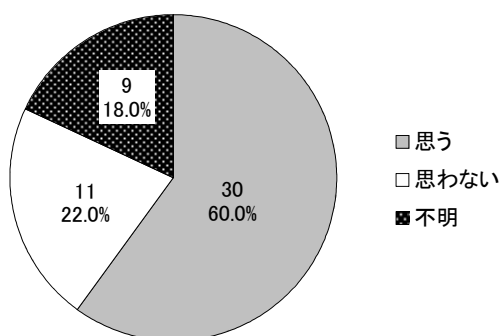
希死念慮をほのめかす言葉					単位: 人
n=50	あった	なかった	分からない	その他	全体 総数
男	10 (27.8%)	16 (44.4%)	9 (25.0%)	1 (2.8%)	36 (100.0%)
女	10 (71.4%)	4 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (100.0%)
合計	20 (40.0%)	20 (40.0%)	9 (18.0%)	1 (2.0%)	50 (100.0%)

11) 自殺のサインの有無

故人が他にも自殺のサインを発していたと思われる方は 30 人 (60.0%) であった。

男女別にみると、他にも自殺のサインを発していたと思われるのは、女性 10 人 (71.4%)、男性 20 人 (55.6%) で女性の方が割合が高かった。

(n=50) (人)

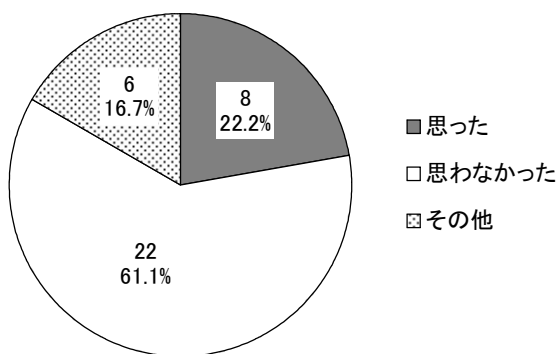


自殺のサイン				単位: 人
n=50	思う	思わない	不明	全体 総数
男	20 (55.6%)	9 (25.0%)	7 (19.4%)	36 (100.0%)
女	10 (71.4%)	2 (14.3%)	2 (14.3%)	14 (100.0%)
合計	30 (60.0%)	11 (22.0%)	9 (18.0%)	50 (100.0%)

12) その当時でもそれが自殺のサインだと思ったか

「死にたい」をほのめかす発言のあった方や、その他にも自殺のサインを発していたと思われる方 36 人のうち、その当時でもそれが自殺のサインだと思ったかについて、「思った」が 8 人(22.2%)、「思わなかった」が 22 人(61.1%)であった。

(n=36) (人)



単位: 人

n=36	当時自殺のサインと思ったか			全体
	思った	思わなかった	その他	総数
男	4 (16.7%)	16 (66.7%)	4 (16.7%)	24 (100.0%)
女	4 (33.3%)	6 (50.0%)	2 (16.7%)	12 (100.0%)
合計	8 (22.2%)	22 (61.1%)	6 (16.7%)	36 (100.0%)

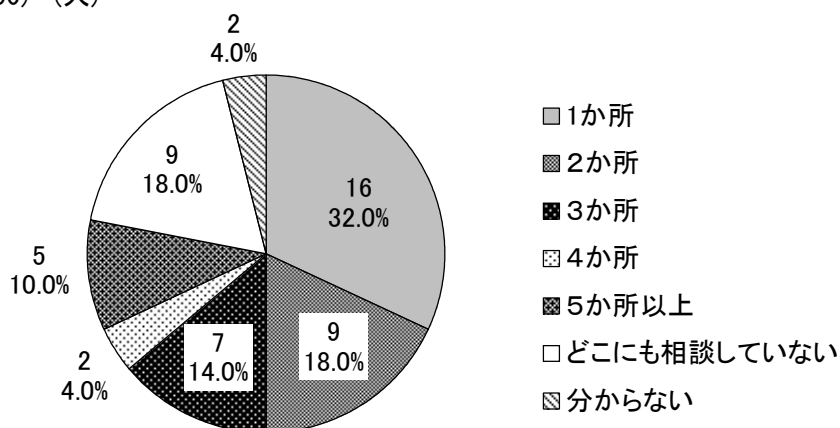
(5) 援助希求について

1) 相談先の数

故人が悩み、問題に関してどこかに相談していたかどうかについては、相談していた方が 39 人(78.0%)であった。

相談をしていた先が、「1 か所」の方が 16 人(32.0%)で最も多く、「2 か所」の方と「どこにも相談していない」方がそれぞれ 9 人(18.0%)で、「5 か所以上」相談していた方も 5 人(10.0%)あった。

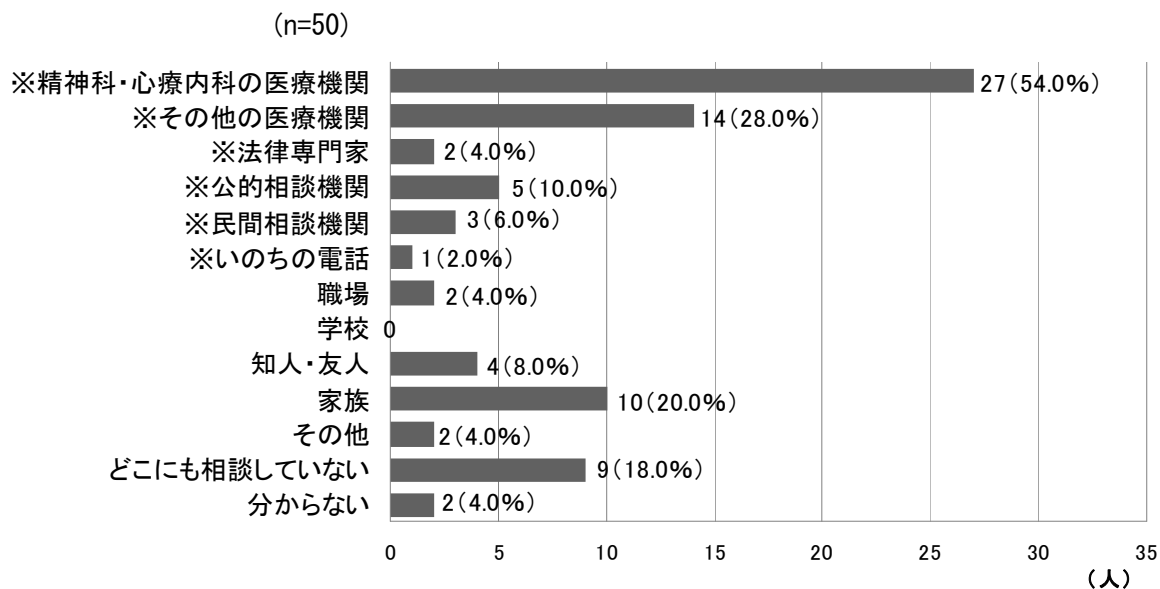
(n=50) (人)



2) 故人の援助希求の有無

故人が悩み、問題について、どこかに相談していたかどうかについては、「精神科・心療内科の医療機関」が 27 人（54.0%）で最も多く、次いで「その他の医療機関」が 14 人（28.0%）、「家族」が 10 人（20.0%）、「公的相談機関」が 5 人（10.0%）であった。一方、「どこにも相談していない」は 9 人（18.0%）であった。

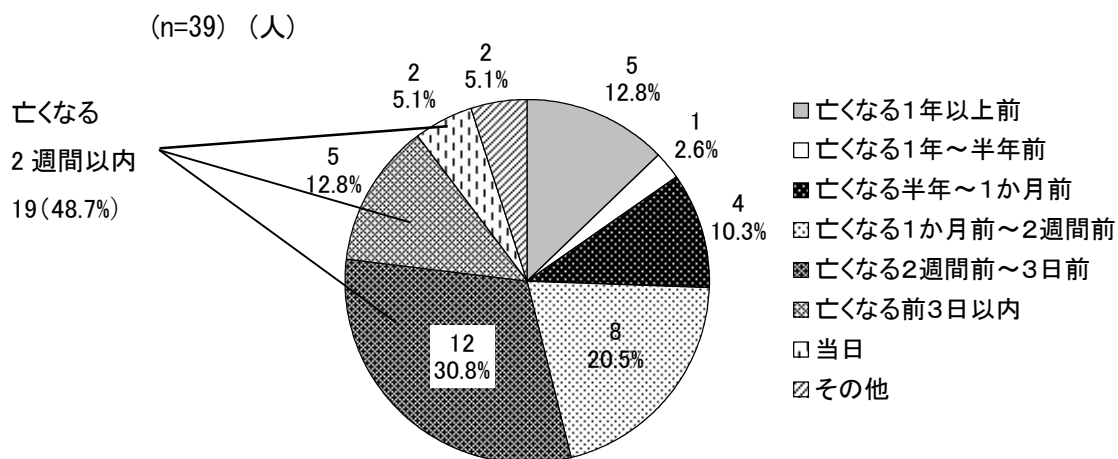
また、実数では、50 人中 35 人（70.0%）が「精神科・心療内科の医療機関」等の専門機関※に相談をしていた。（※専門機関：下図棒グラフの頭部に※がある機関。）



※複数回答

3) 最後の相談時期

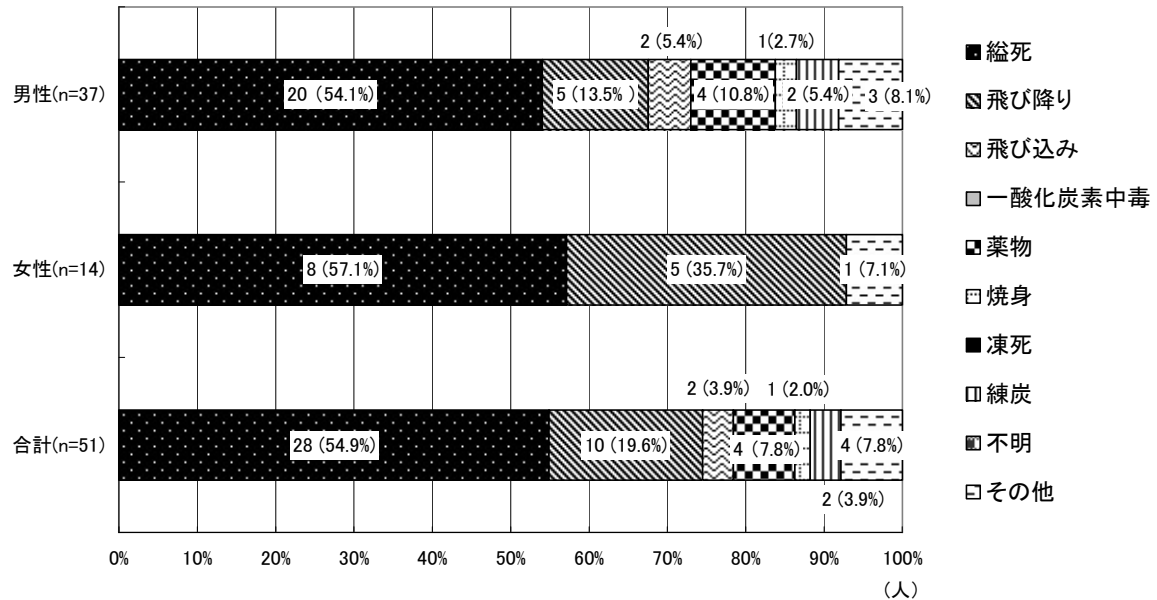
相談をしていた 39 人のうち、最後に相談した時期について、「亡くなる 2 週間前～3 日前」の方が 12 人（30.8%）で最も多く、次いで「亡くなる 1 か月前～2 週間前」の方が 8 人（20.5%）と多かった。



(6) 死去について

1) 自殺の手段

自殺の手段で最も多かったのが「縊死」で 28 人 (54.9%)、次いで「飛び降り」が 10 人 (19.6%)、「薬物」が 4 人 (7.8%) であった。

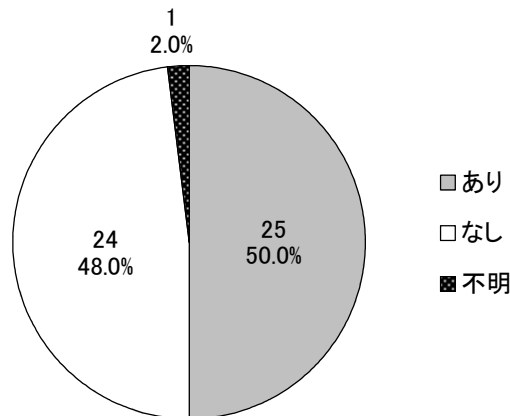


※複数回答

2) 遺書の有無

遺書があった方は 25 人(50.0%)、なかった方は 24 人(48.0%)で、ほぼ半数ずつであった。

「遺書あり」は、女性の方がやや高い割合 8 人 (57.1%) であった。

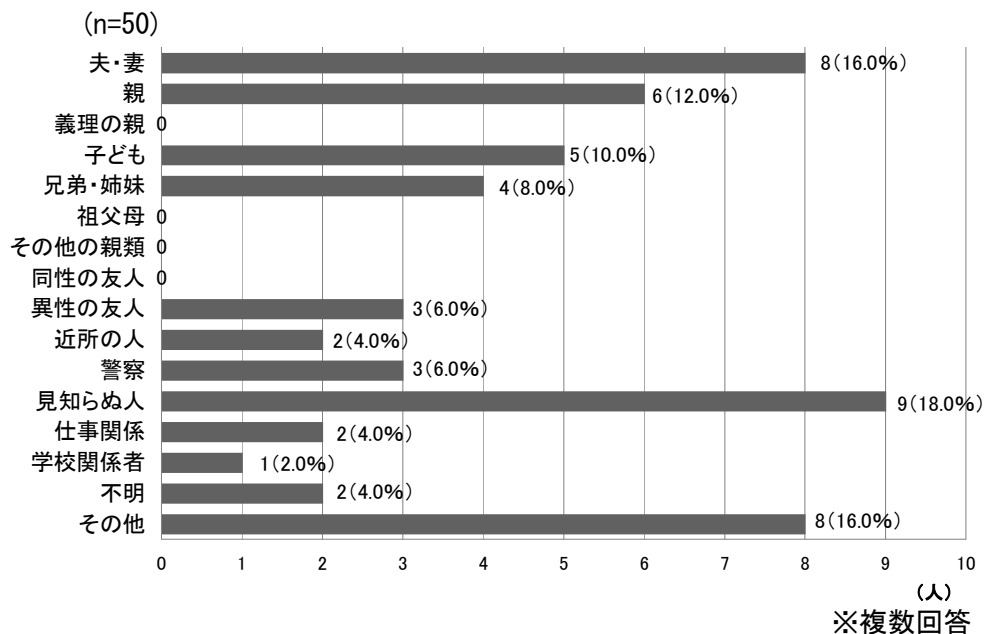


単位：人																	
n=50	年代・性別														全体		
	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		総数		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
あり	0 (0.0%)	0 (－)	6 (66.7%)	3 (60.0%)	2 (28.6%)	2 (100.0%)	3 (42.9%)	1 (100.0%)	4 (44.4%)	1 (50.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (－)	0 (0.0%)	17 (47.2%)	8 (57.1%)	25 (50.0%)
なし	1 (100.0%)	0 (－)	3 (33.3%)	2 (40.0%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	4 (57.1%)	0 (0.0%)	5 (55.6%)	1 (50.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (－)	0 (0.0%)	19 (52.8%)	5 (35.7%)	24 (48.0%)
不明	0 (0.0%)	0 (－)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (－)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	1 (2.0%)
合計	1 (100.0%)	0 (－)	9 (100.0%)	5 (100.0%)	7 (100.0%)	2 (100.0%)	7 (100.0%)	1 (100.0%)	9 (100.0%)	2 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	0 (－)	1 (100.0%)	36 (100.0%)	14 (100.0%)	50 (100.0%)

単位: 人

3) 最初に発見した人

亡くなられた方を最初に発見した人について、「見知らぬ人」が9人(18.0%)で最も多く、次いで「夫・妻」が8人(16.0%)、「その他」が8人(16.0%)、「親」が6人(12.0%)、「子ども」が5人(10.0%)であった。



単位:人

n=50	自殺者の年代							全体
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	総数
夫・妻	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	2 (4.0%)	3 (6.0%)	2 (4.0%)	0 (0.0%)	8 (16.0%)
親	0 (0.0%)	3 (6.0%)	3 (6.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (12.0%)
義理の親	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
子ども	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	1 (2.0%)	5 (10.0%)
兄弟・姉妹	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.0%)	1 (2.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (8.0%)
祖父母	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他の親類	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
同性の友人	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
異性の友人	0 (0.0%)	3 (6.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (6.0%)
近所の人	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.0%)
警察	0 (0.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	3 (6.0%)
見知らぬ人	0 (0.0%)	4 (8.0%)	2 (4.0%)	1 (2.0%)	2 (4.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (18.0%)
仕事関係	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.0%)
学校関係者	0 (0.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)
不明	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (4.0%)
その他	1 (2.0%)	2 (4.0%)	0 (0.0%)	2 (4.0%)	1 (2.0%)	2 (4.0%)	0 (0.0%)	8 (16.0%)
合計	1 (2.0%)	14 (28.0%)	11 (22.0%)	8 (16.0%)	12 (24.0%)	6 (12.0%)	1 (2.0%)	53 (106.0%)

※複数回答

2 自死遺族に関する調査の結果

自死遺族に関する調査においては、調査時点において、都内に在住していた自死遺族 38 人について調査を行い、遺族の心情や生活状況等を把握した。

(1) 遺族についての基礎情報

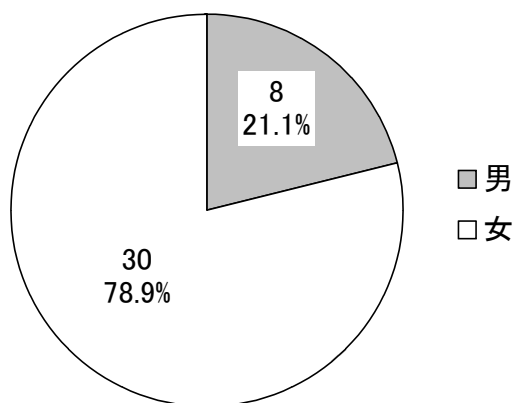
1) 性別と年齢

遺族の性別は、「男性」が 8 人 (21.1%)、「女性」が 30 人 (78.9%) であった。

これを年代別でみると、女性では、「30 代」10 人 (33.3%)、「50 代」9 人 (30.0%) が多く、男性では「30 代」3 人 (37.5%) が多かった。

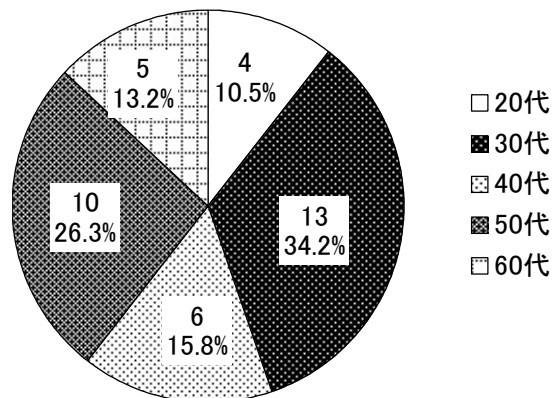
■性別

(n=38) (人)



■年齢

(n=38) (人)



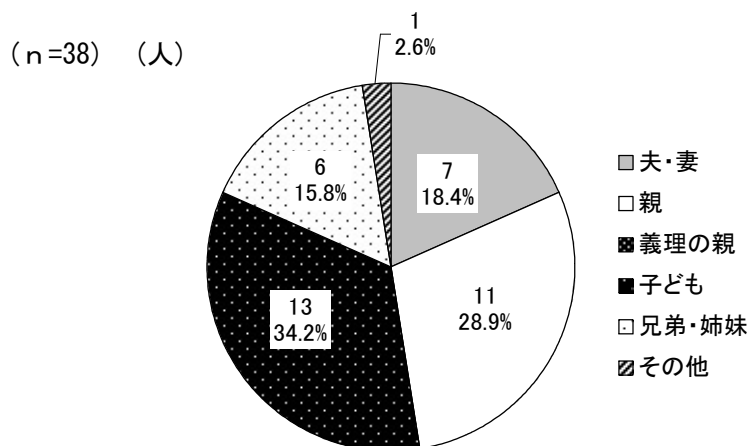
単位: 人

n=38	年代					全体
	20代	30代	40代	50代	60代	総数
男	1 (12.5%)	3 (37.5%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	8 (100.0%)
女	3 (10.0%)	10 (33.3%)	4 (13.3%)	9 (30.0%)	4 (13.3%)	30 (100.0%)
合計	4 (10.5%)	13 (34.2%)	6 (15.8%)	10 (26.3%)	5 (13.2%)	38 (100.0%)

2) 故人との関係（故人にとっての続柄）

故人との関係（故人にとっての続柄）については、「子ども」が13人（34.2%）で最も多く、次いで「親」が11人（28.9%）となっていた。

女性では、「子ども」が11人（36.7%）、「親（母親）」が10人（33.3%）と多く、男性では、「兄弟・姉妹（兄弟）」が4人（50.0%）と多かった。

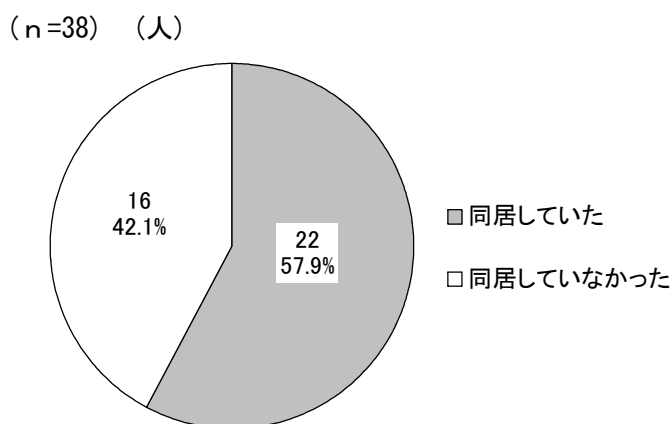


単位: 人

n=38	続柄					全体
	夫・妻	親	子ども	兄弟・姉妹	その他	総数
男	1 (12.5%)	1 (12.5%)	2 (25.0%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)	8 (100.0%)
女	6 (20.0%)	10 (33.3%)	11 (36.7%)	2 (6.7%)	1 (3.3%)	30 (100.0%)
合計	7 (18.4%)	11 (28.9%)	13 (34.2%)	6 (15.8%)	1 (2.6%)	38 (100.0%)

3) 故人との同居

生前、故人と同居していたかどうかについて、「同居していた」は22人（57.9%）で、半数以上の方が同居しており、「同居していた」では「子ども」が8人（36.4%）と最も多かった。



単位: 人

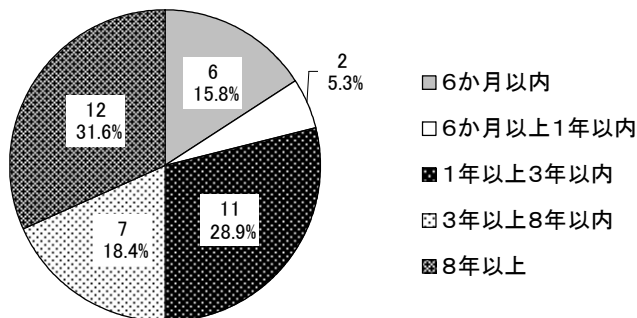
n=38	同居		全体
	していた	していなかった	総数
夫・妻	6 (27.3%)	1 (6.3%)	7 (18.4%)
親	7 (31.8%)	4 (25.0%)	11 (28.9%)
子ども	8 (36.4%)	5 (31.3%)	13 (34.2%)
兄弟・姉妹	1 (4.5%)	5 (31.3%)	6 (15.8%)
その他	0 (0.0%)	1 (6.3%)	1 (2.6%)
合計	22 (100.0%)	16 (100.0%)	38 (100.0%)

4) 亡くしてからの期間

故人を亡くしてからの期間については、「8年以上」が12人（31.6%）と最も多く、次いで「1年以上3年以内」が11人（28.9%）、「3年以上8年以内」が7人（18.4%）、「6か月以内」が6人（15.8%）の順であった。

続柄でみると「子ども」は「8年以上」、「親」「兄弟・姉妹」は「1年以上3年以内」、「夫・妻」は「6か月以内」が半数以上を占めていた。

(n=38) (人)



n=38	続柄					単位:人
	夫・妻	親	子ども	兄弟・姉妹	その他	全体 総数
6か月以内	4 (57.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	6 (15.8%)
6か月以上1年以内	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	2 (5.3%)
1年以上3年以内	1 (14.3%)	6 (54.5%)	1 (7.7%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	11 (28.9%)
3年以上8年以内	1 (14.3%)	2 (18.2%)	3 (23.1%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	7 (18.4%)
8年以上	1 (14.3%)	3 (27.3%)	8 (61.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (31.6%)
合計	7 (100.0%)	11 (100.0%)	13 (100.0%)	6 (100.0%)	1 (100.0%)	38 (100.0%)

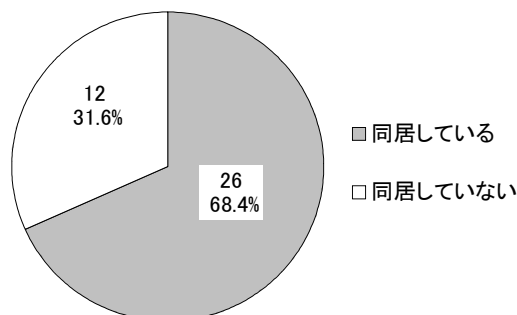
(2) 現在の生活

1) 同居の有無

現在、誰かと同居しているかについては、「同居している」が26人（68.4%）で多かった。

同居している割合は、女性22人（73.3%）、男性4人（50.0%）で女性の方が高かった。

(n=38) (人)



n=38	年代・性別										単位:人		
	20代		30代		40代		50代		60代		全体 総数		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
同居している	0 (0.0%)	3 (100.0%)	1 (33.3%)	5 (50.0%)	2 (100.0%)	4 (100.0%)	1 (100.0%)	7 (77.8%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	4 (50.0%)	22 (73.3%)	26 (68.4%)
同居していない	1 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	5 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (22.2%)	1 (100.0%)	1 (25.0%)	4 (50.0%)	8 (26.7%)	12 (31.6%)
合計	1 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	10 (100.0%)	2 (100.0%)	4 (100.0%)	1 (100.0%)	9 (100.0%)	1 (100.0%)	4 (100.0%)	8 (100.0%)	30 (100.0%)	38 (100.0%)

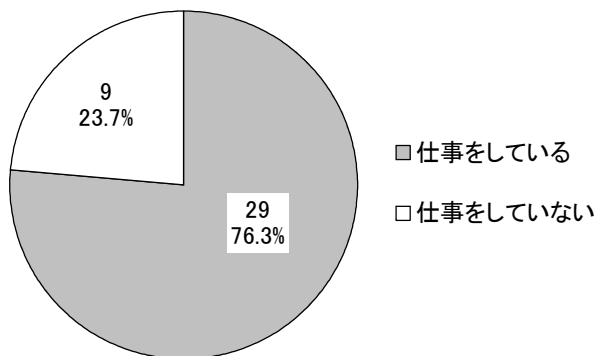
2) 現在の仕事の有無

現在の仕事の有無については、「仕事をしている」が 29 人（76.3%）と多かった。

女性では、「仕事をしている」が 24 人（80.0%）であり、それぞれの年代を通して仕事をしている割合が高かった。

続柄別にみると仕事をしている割合は、「兄弟・姉妹」6 人（100.0%）、「親」10 人（90.9%）、「夫・妻」6 人（85.7%）で高かった。

（n=38）（人）



単位：人

n=38	年代・性別										全体 総数		
	20代		30代		40代		50代		60代		男	女	合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
仕事をして いる	0 (0.0%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)	7 (70.0%)	1 (50.0%)	3 (75.0%)	1 (100.0%)	9 (100.0%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	5 (62.5%)	24 (80.0%)	29 (76.3%)
仕事をして いない	1 (100.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	3 (30.0%)	1 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (25.0%)	3 (37.5%)	6 (20.0%)	9 (23.7%)
合計	1 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	10 (100.0%)	2 (100.0%)	4 (100.0%)	1 (100.0%)	9 (100.0%)	1 (100.0%)	4 (100.0%)	8 (100.0%)	30 (100.0%)	38 (100.0%)

単位：人

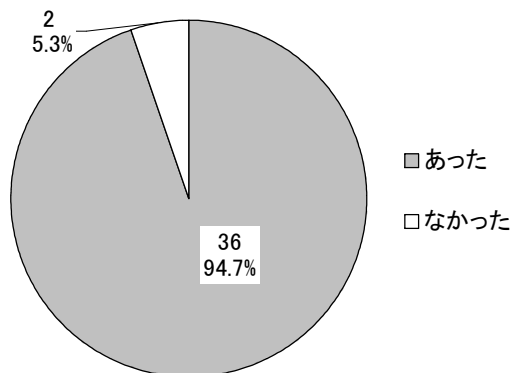
n=38	続柄					全体 総数
	夫・妻	親	子ども	兄弟・姉妹	その他	
仕事をして いる	6 (85.7%)	10 (90.9%)	6 (46.2%)	6 (100.0%)	1 (100.0%)	29 (76.3%)
仕事をして いない	1 (14.3%)	1 (9.1%)	7 (53.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (23.7%)
合計	7 (100.0%)	11 (100.0%)	13 (100.0%)	6 (100.0%)	1 (100.0%)	38 (100.0%)

(3) 困ったこと・悩んだこと

1) 故人が亡くなったことによる悩みの有無

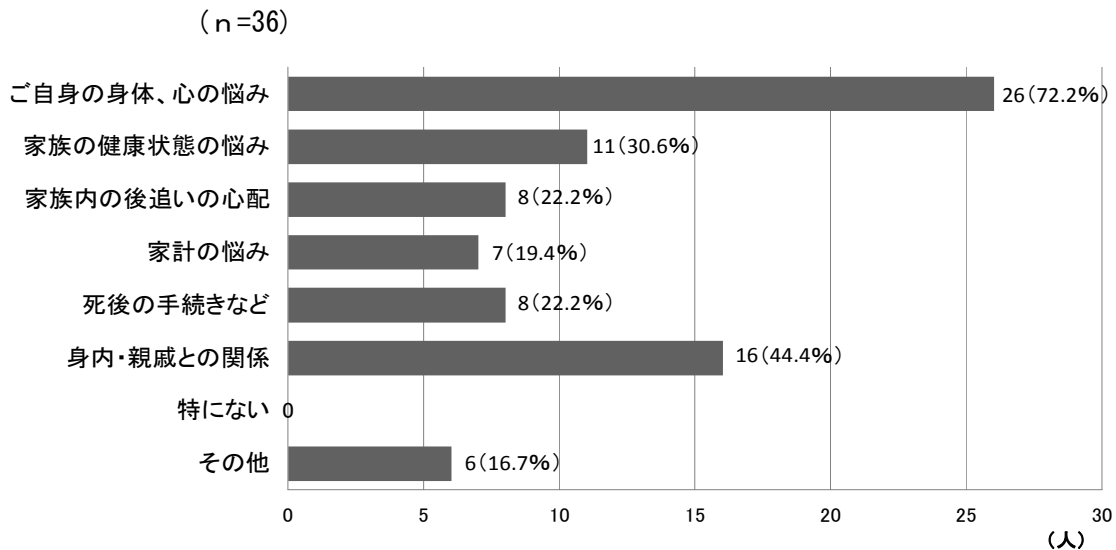
故人が亡くなってから半年間の間に、故人が亡くなったことにより困ったこと、悩んだことが「あった」が 36 人（94.7%）であった。

（n=38）（人）



2) 悩みの内容

「故人が亡くなったことによって困ったことや悩んだことが「あった」方の、その具体的な内容については、「ご自身の身体、心の悩み」が 26 人 (72.2%) で最も多く、次いで「身内・親戚との関係」が 16 人 (44.4%)、「家族の健康状態の悩み」が 11 人 (30.6%)、「家族内の後追いの心配」が 8 人 (22.2%)、「死後の手続きなど」が 8 人 (22.2%) であった。



※複数回答

続柄でみると、「親」では「ご自身の身体、心の悩み」が 7 人 (77.8%) で、ここに集中しているが、「夫・妻」「子ども」では、多くの項目での悩み、困りごとがあり、「子ども」では「身内・親戚との関係」が 10 人 (76.9%) で多くなっている。

単位: 人

n=36	続柄					全体
	夫・妻 (n=7)	親 (n=9)	子ども (n=13)	兄弟・姉妹 (n=6)	その他 (n=1)	総数 (n=36)
ご自身の身体、心の悩み	4 (57.1%)	7 (77.8%)	10 (76.9%)	4 (66.7%)	1 (50.0%)	26 (72.2%)
家族の健康状態の悩み	3 (42.9%)	2 (22.2%)	5 (38.5%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	11 (30.6%)
家族内の後追いの心配	1 (14.3%)	1 (11.1%)	5 (38.5%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	8 (22.2%)
家計の悩み	2 (28.6%)	0 (0.0%)	5 (38.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (19.4%)
死後の手続きなど	3 (42.9%)	0 (0.0%)	2 (15.4%)	2 (33.3%)	1 (50.0%)	8 (22.2%)
身内・親戚との関係	3 (42.9%)	1 (11.1%)	10 (76.9%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	16 (44.4%)
特になし	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	1 (14.3%)	1 (11.1%)	2 (15.4%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	6 (16.7%)
合計	17	12	39	12	2	82

※複数回答

年代でみると、「ご自身の身体、心の悩み」については、年齢が高い方が「あった」割合が高く、「身内・親戚との関係」については、年齢が低い方が「あった」割合が高い傾向があった。

単位:人

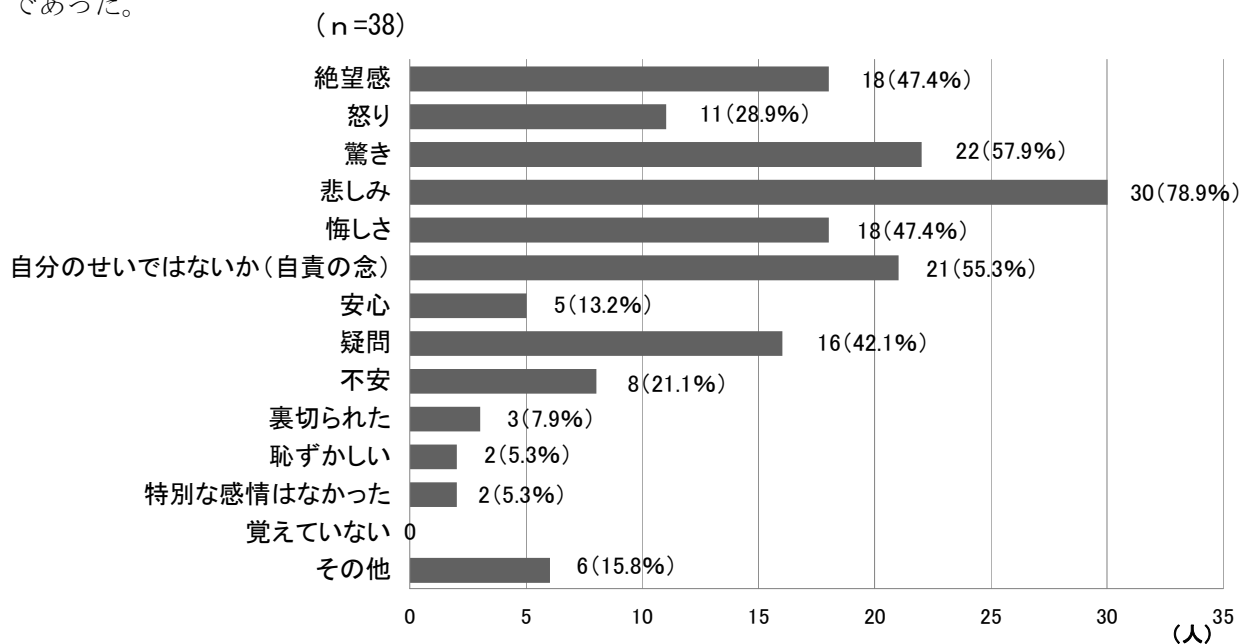
n=36	ご自身の身体、心の悩み	家族の健康状態の悩み	家族内の後追いの心配	家計の悩み	死後の手続きなど	身内・親戚との関係	特になし	その他	合計
20代 (n=4)	2 (50.0%)	2 (50.0%)	3 (75.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12
30代 (n=13)	10 (76.9%)	4 (30.8%)	3 (23.1%)	2 (15.4%)	3 (23.1%)	7 (53.8%)	0 (0.0%)	4 (30.8%)	33
40代 (n=6)	4 (66.7%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	3 (50.0%)	3 (50.0%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	18
50代 (n=9)	6 (66.7%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13
60代 (n=4)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6
合計 (n=36)	26 (72.2%)	11 (30.6%)	8 (22.2%)	7 (19.4%)	8 (22.2%)	16 (44.4%)	0 (0.0%)	6 (16.7%)	82

※複数回答

(4) 直後*の感情・体調など (*故人が亡くなってから3か月後までの間)

1) 直後の感情

直後の感情として、最も多かったのが「悲しみ」で 30 人(78.9%)、次いで「驚き」が 22 人(57.9%)、「自分のせいではないか(自責の念)」が 21 人(55.3%)、「絶望感」、「悔しさ」がそれぞれ 18 人(47.4%)であった。



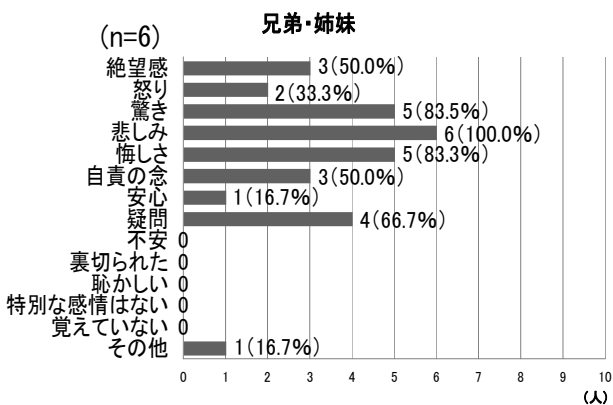
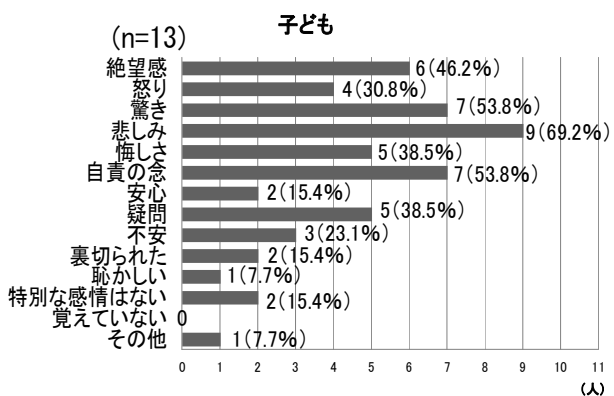
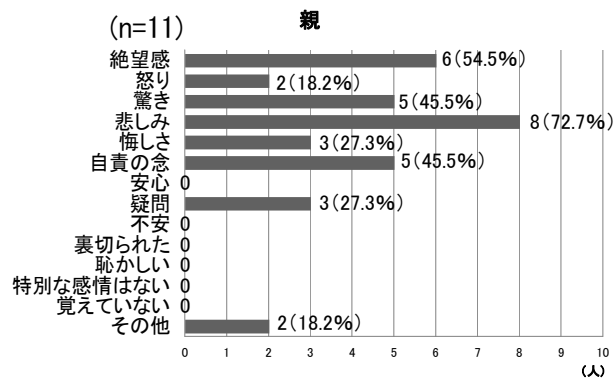
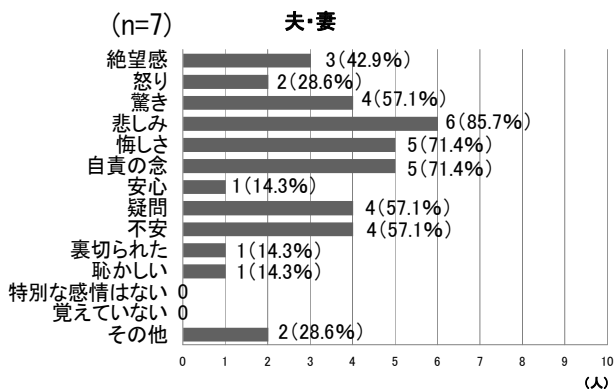
※複数回答

主な内容

- ・かつて経験したことのない怖さ。現実的でない夢を見ている感じ。
- ・私、この先、だいじょうぶかなと思った。周りに言えることではなかったので、かげを背負ってしまうような感じがした。
- ・何で、という思い。勝手だと。どうかならなかつたのか。両極端の気持ちが混在していた。

■続柄別

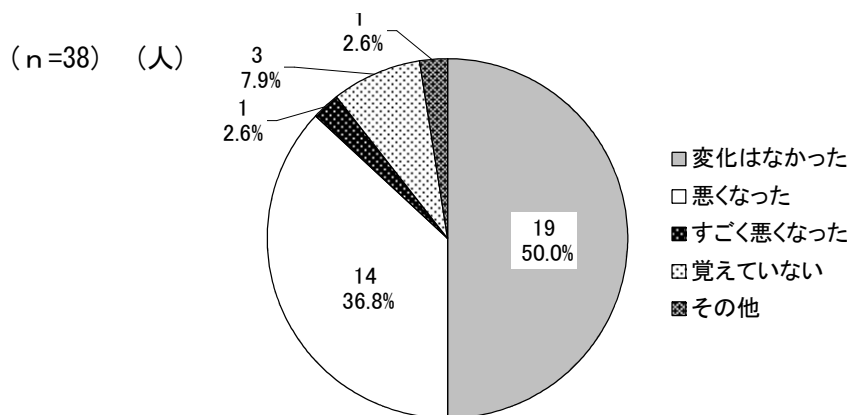
続柄別にみると、どの立場でも「悲しみ」を感じるという回答が最も多いが、「悲しみ」を別にすると、「夫・妻」では「悔しさ」「自責の念」がそれぞれ 5 人（71.4%）と最も多く、「親」では「絶望感」が 6 人（54.5%）と多く、「子ども」では「驚き」「自責の念」がそれぞれ 7 人（53.8%）と最も多かった。



※複数回答

2) 直後の体調の変化

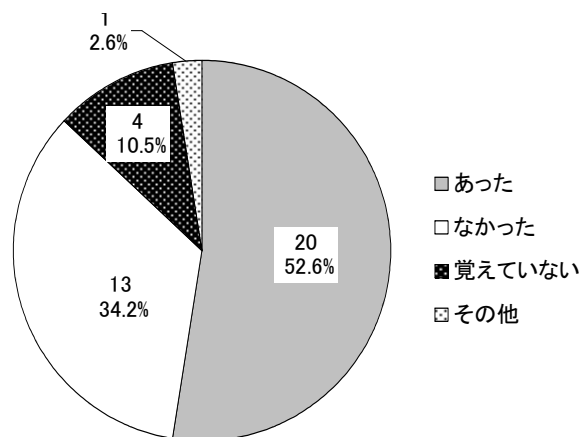
直後の体調の変化については、「すごく悪くなった」「悪くなった」が併せて 15 人（39.4%）、「変化はなかった」が 19 人（50.0%）であった。



3) 直後の睡眠の変化

直後の睡眠の変化については、「あった」が 20 人 (52.6%)、「なかった」が 13 人 (34.2%) であった。

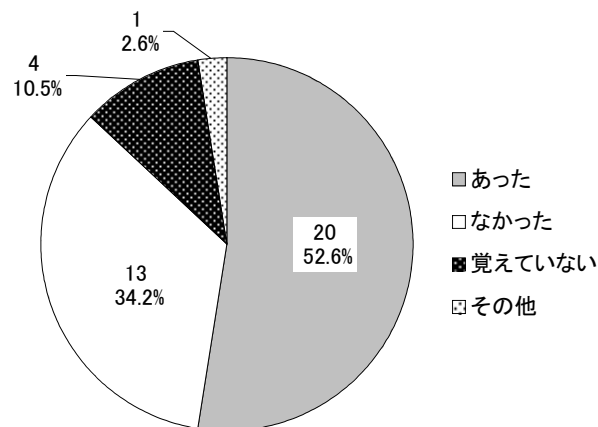
(n=38) (人)



4) 直後の食事（食欲）の変化

直後の食事（食欲）の変化については、「あった」が 20 人 (52.6%)、「なかった」が 13 人 (34.2%) であった。

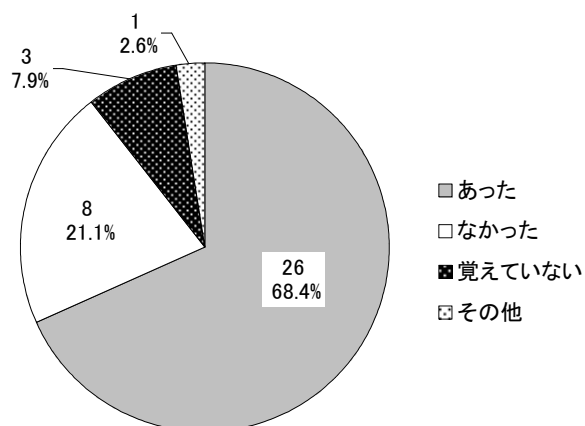
(n=38) (人)



5) 直後の抑うつ感の有無

直後に、抑うつ感（気分が滅入る、気力が出ない）があったかどうかについては、「あった」が 26 人 (68.4%)、「なかった」が 8 人 (21.1%) であった。

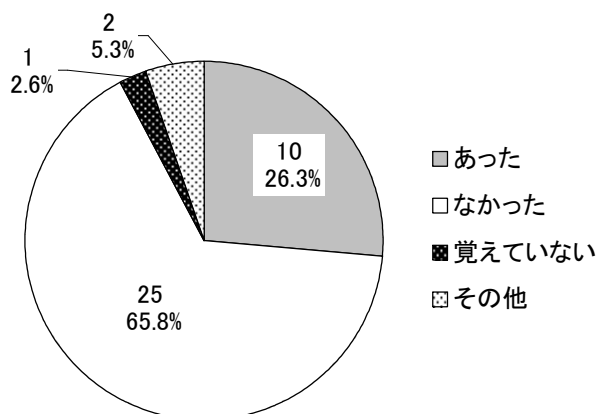
(n=38) (人)



6) 直後の希死念慮

直後にご自身も「死にたい」と考えたことがあるかについては、「あった」は10人(26.3%)、「なかった」は25人(65.8%)で、4人に1人の方がご自身も「死にたい」と考えたことがあった。

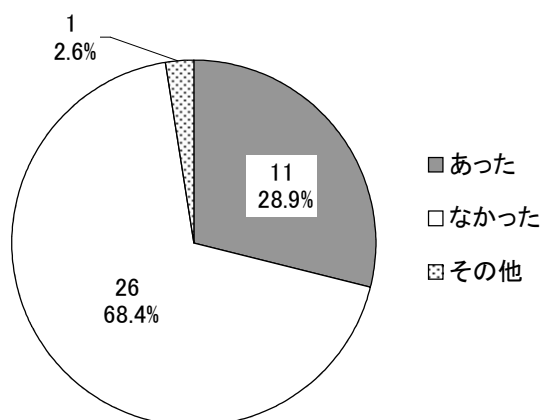
(n=38) (人)



7) 直後の体調、心の変化での医療機関受診の有無

直後の体調、心の変化で医療機関を受診したかについては、受診が「あった」は11人(28.9%)、「なかった」は26人(68.4%)であった。

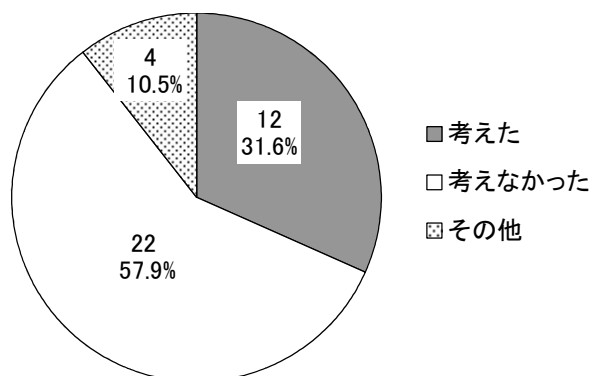
(n=38) (人)



8) 引越しを考えたか

故人が亡くなった後、引越しを考えたかどうかについては、「考えた」が12人(31.6%)、「考えなかった」が22人(57.9%)であった。

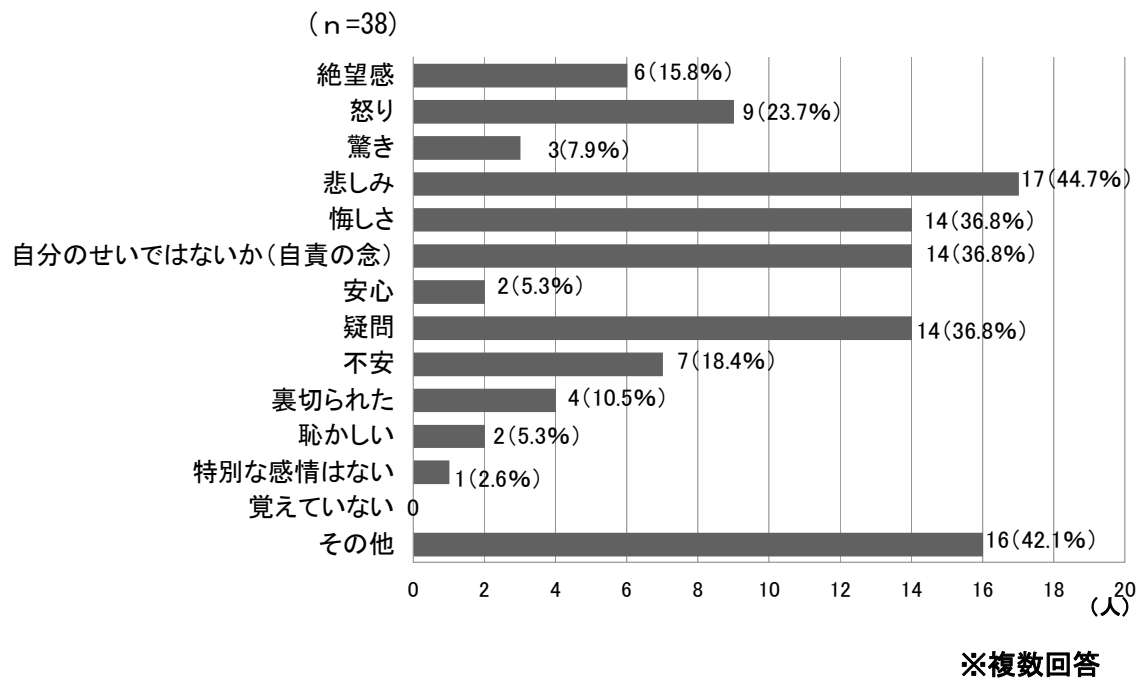
(n=38) (人)



(5) 現在の感情・悩みなど

1) 現在の感情

故人の生前と比べた現在の感情については、最も多いのが「悲しみ」の17人(44.7%)で、次いで「その他」が16人(42.1%)、「悔しさ」、「自分のせいではないか(自責の念)」、「疑問」がそれぞれ14人(36.8%)、「怒り」が9人(23.7%)であった。

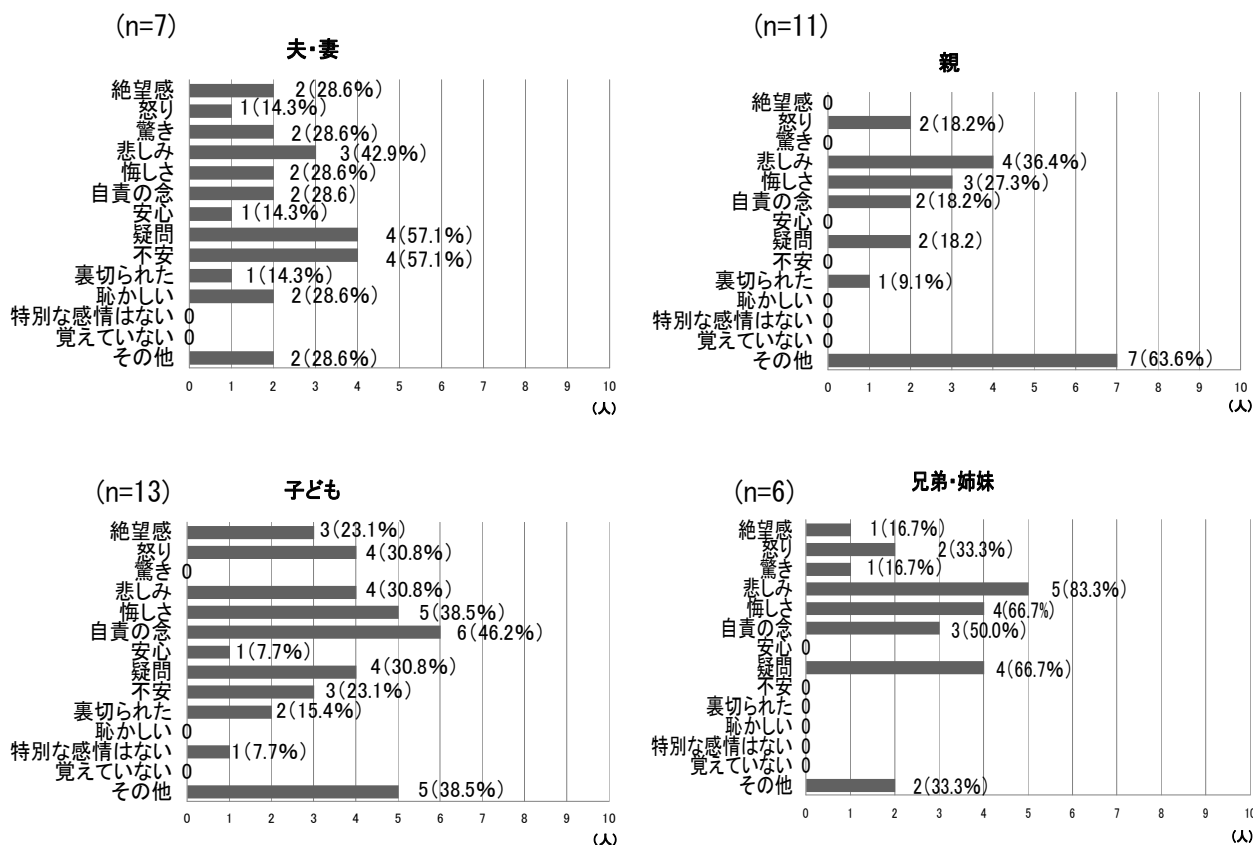


主な内容

- ・いろいろな人に故人の存在価値を教えてもらったことで、後悔がなくなった。
- ・依頼するところがない。自分の力で生きられなくなったら、生きていけない。いつ死んでもおかしくない。
- ・自死というものは特別のものではない。自分の父も世の中に潰された。そのおかしい世を変えるためにも力を起こしたい。
- ・何ができたのか、どうしたらよかったのかと自問自答する。昔と比べ落ち込むことは減ったが、何かのきっかけでギヤーという感情に襲われることがある。
- ・過労死であったが、息子(故人)は会社に迷惑をかけた、会社は何も言わないでくれと遺書に書いてあった。会社に対する怒りと、故人の思いを大切にしたい気持ちの葛藤がある。
- ・経験してきた者でないとわからない。
- ・遺族支援、自殺予防に関われないかと思っている。

■続柄別

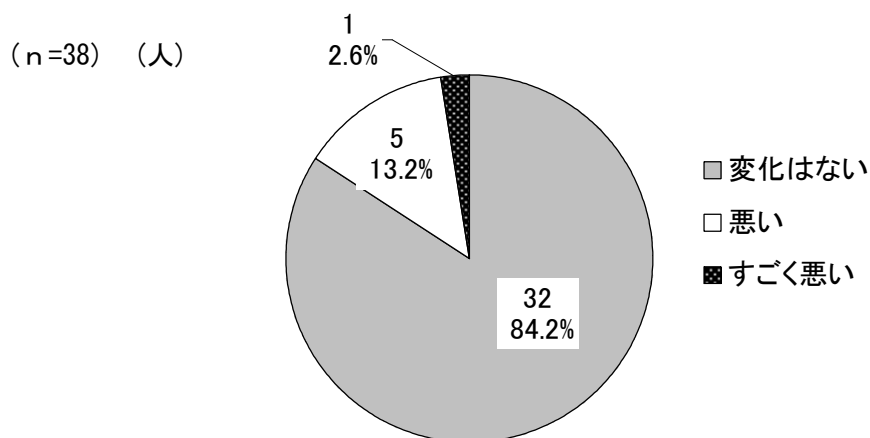
続柄別では、「夫・妻」は「疑問」「不安」を感じる方がそれぞれ4人（57.1%）と多く、「親」では「その他」が7人（63.6%）と多く、「子ども」では「自責の念」が6人（46.2%）と多く、「兄弟・姉妹」では「悲しみ」が5人（83.3%）と最も多かった。



※複数回答

2) 体調の変化

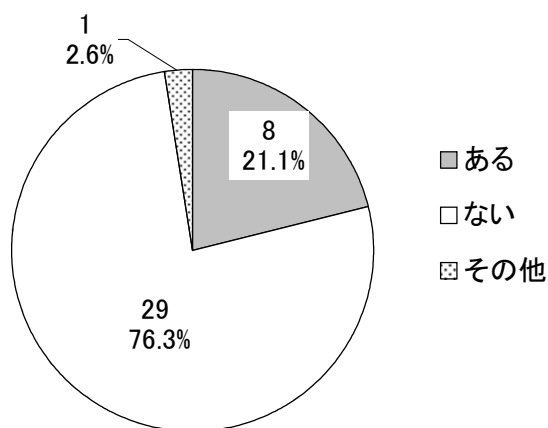
故人の生前と比べた現在の体調については、「変化はない」が32人（84.2%）、「悪い」が5人（13.2%）、「すごく悪い」が1人（2.6%）であった。



3) 睡眠の変化

故人の生前と比べた睡眠の変化については、「ある」が 8 人 (21.1%)、「ない」が 29 人 (76.3%) であった。

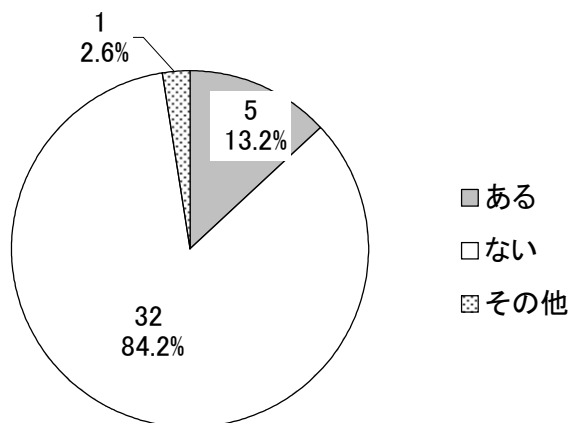
(n=38) (人)



4) 食事（食欲）の変化

故人の生前と比べた食事(食欲)の変化について、「ある」が 5 人 (13.2%)、「ない」が 32 人 (84.2%) であった。

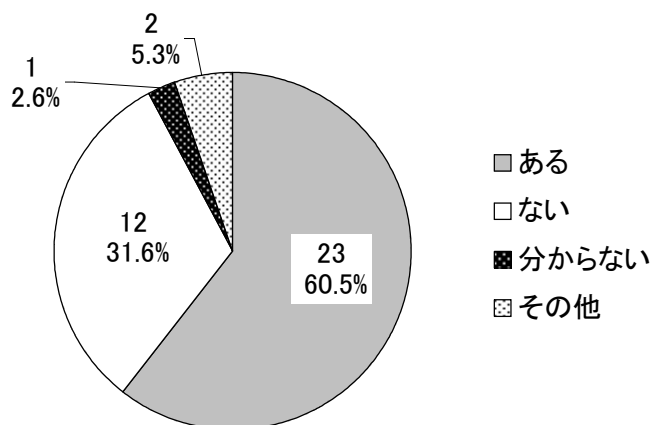
(n=38) (人)



5) 抑うつ感の有無（気分が滅入る、気力が出ない）

故人の生前と比べた現在の抑うつ感（気分が滅入る、気力が出ない）の有無について、「ある」が 23 人 (60.5%)、「ない」が 12 人 (31.6%) であった。

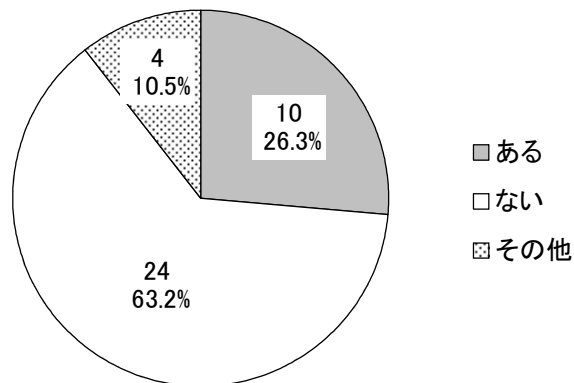
(n=38) (人)



6) 最近の希死念慮

最近、「死にたい」と考えたことがあるかについては、「ある」が10人(26.3%)、「ない」が24人(63.2%)であった。

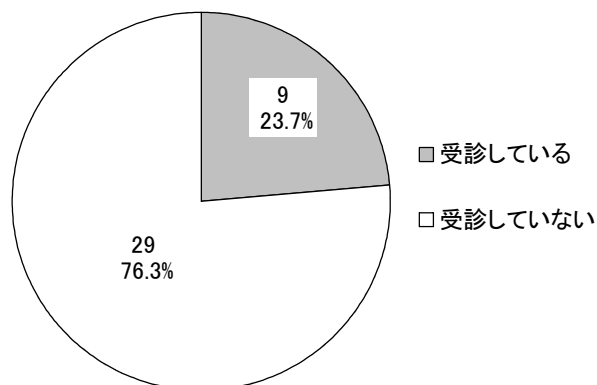
(n=38) (人)



7) 現在の体調、心の変化での医療機関受診の有無

現在、体調、心の変化で受診しているかについて、「受診している」は9人(23.7%)、「受診していない」は29人(76.3%)であった。

(n=38) (人)



8) 故人の死後の変化や現在の悩みなど(自由記述)

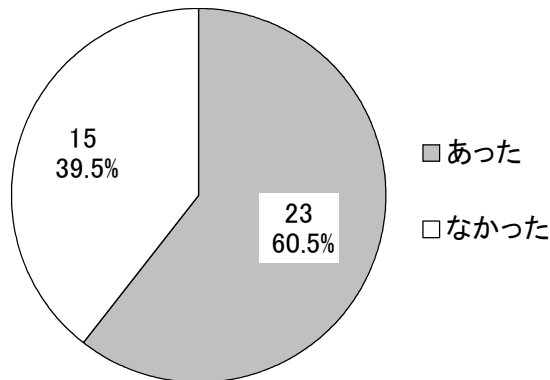
- ・仕事に集中できなくなった。
- ・人に自分のことを話しづらく、相手を本当に信用できるか様子を伺ってしまう。一刻でも早く一人でも多くの方が、自殺や自殺者の遺族への理解、関心を持てるように広めていきたい。
- ・何があったのだろうと知りたいと思う。
- ・この体験をどう処理すればいいのか。亡くなった人は帰ってこないが、なにか役立つことはできないか。
- ・思い出を語れる相手がいない。

(6) 周囲の反応・支援について

1) 直後の気になった言葉

故人が亡くなった直後（亡くなってから3か月後までの間）に周囲の反応や言葉で気になったものについて、「あった」が23人（60.5%）と、半数以上の方が気になる言葉を受け取っていた。

(n=38) (人)



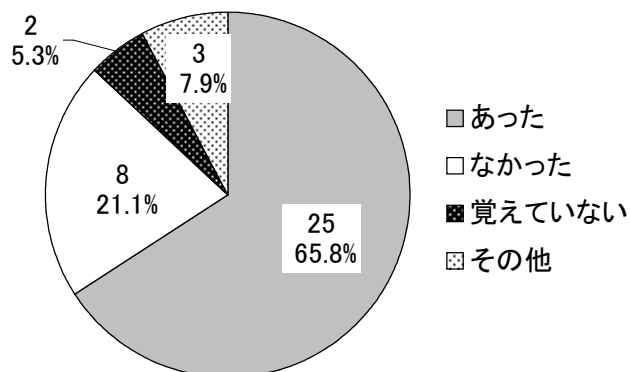
主な内容

- ・親類から、「父親が死ぬほど苦しんでいたのになぜ気づかなかったのか」など責められた。
- ・母の死に対して、「おまえのせいだ」（父から）。「いやなお母さんね」（近所の人から）。
- ・「どうやって死んじゃったの」と、手段を根掘り葉掘り聞かれた。
- ・1か月くらい経つと「どう少しは落ち着いた？」と声をかけられた。
- ・「忘れなさい」「前を向いて歩きなさい」などと、友人に声をかけられた。

2) 直後の支えになったもの

故人が亡くなった直後に周囲の反応や言葉で支えになったものについて、「あった」は25人（65.8%）と、半数以上の方が支えになる言葉などを受け取っていた。

(n=38) (人)



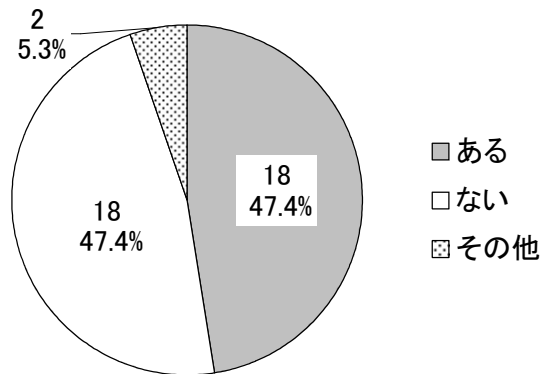
主な内容

- ・母や姉が泣いているのに自分が泣けない時、おばが「泣いてもいいんだよ」と言ってくれた。
- ・友人が話を聞いてくれた。
- ・無言のやさしさ（職場の周りの人）。
- ・「今一人でいるのはよくないよ」と心配してくれたり、話をよく聞いてくれた（離婚など何かしらの喪失体験のある人たちは、よく分かってくれた）。

3) 最近の気になった言葉

最近、周囲の反応や言葉で気になるものについて、「ある」が 18 人（47.4%）と、約半数の方が気になる言葉などを受け取っていた。

(n=38) (人)



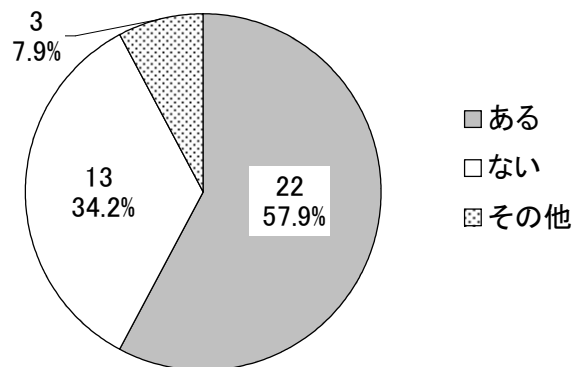
主な内容

- ・職場で「保険金が入ったから夜勤しなくてもいいじゃない」とじゃまにされる。
- ・子ども（故人）のことを知っている人とだと、お互い気にしてコミュニケーションがまだ取れない。
- ・先祖に何かあったから、そういうこと（自殺）になったんじゃないの。

4) 最近の支えになっているもの

最近、周囲の反応や言葉で支えになっているものについて、「ある」が 22 人（57.9%）で、半数以上の方が支えになる言葉などを受け取っていた。

(n=38) (人)



主な内容

- ・母や友人から「いつも気にしている」と電話やメールをもらう。
- ・分かち合いの会*で知り合った人とのやり取り。
- ・あしながさん**に「頑張ってね」とか声をかけられること。

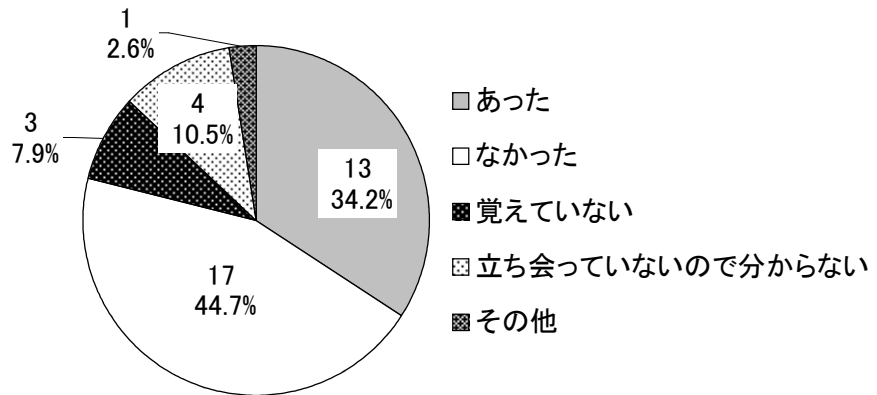
*: 自死により亡くなられた方の遺族が、体験を語り合うことで、悲しみや苦しみを分かち合い、共に支え合うことを目的とした会

**: 病気・災害・自死遺児らの進学之梦を継続的に支援する人

5) 死後の警察への不満

死後の警察の対応について、不満が「あった」が13人(34.2%)、「なかった」が17人(44.7%)であった。

(n=38) (人)



■「あった」場合の具体的内容

n=13	人数(人)	割合(%)
ご遺体への扱いが雑だった	3	23.1%
故人を犯罪の犯人かのように扱われたように感じた	1	7.7%
遺族(家族)を犯罪の犯人かのように扱われたように感じた	2	15.4%
その他	7	53.8%
合計	13	100.0%

■「あった」場合の具体的内容（自由記述）

- ・生命保険のことをしつこく聞かれる。
- ・またかという事務的な雰囲気。
- ・遺体を前にして、いろいろ聞かれた。

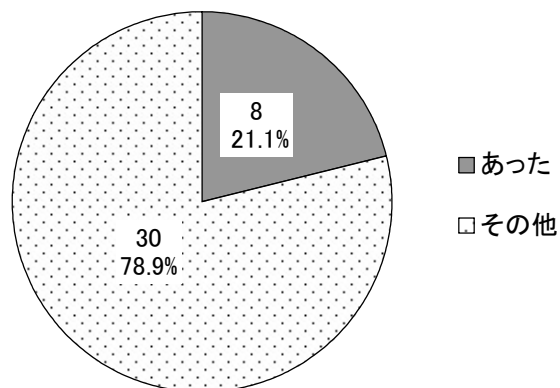
「その他」主な内容

- ・捜索願いを出したが、本気になっては探してくれなかった。
- ・言動、態度、雰囲気。

6) 死後の医師、医療機関への不満

死後の医師、医療機関の対応について、不満が「あった」が8人(21.1%)であった。

(n=38) (人)

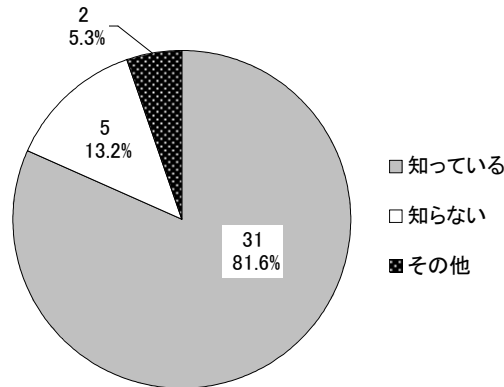


7) 遺族のつどいの認知度

遺族のつどいの存在を知っているかについて、「知っている」は31人(81.6%)であった。

「知っている」は、女性26人(86.7%)の方が多かったが、男性も半数以上の5人(62.5%)であった。

(n=38) (人)



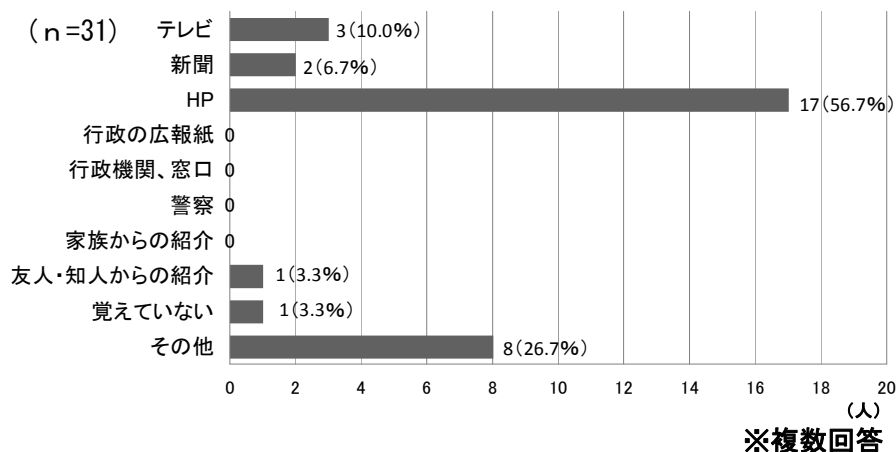
単位:人

n=38	年代・性別										全体		
	20代		30代		40代		50代		60代		総数		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
知っている	1 (100.0%)	2 (66.7%)	3 (100.0%)	10 (100.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	8 (88.9%)	1 (100.0%)	2 (50.0%)	5 (62.5%)	26 (86.7%)	31 (81.6%)
知らない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	2 (25.0%)	3 (10.0%)	5 (13.2%)
その他	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	1 (3.3%)	2 (5.3%)
合計	1 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	10 (100.0%)	2 (100.0%)	4 (100.0%)	1 (100.0%)	9 (100.0%)	1 (100.0%)	4 (100.0%)	8 (100.0%)	30 (100.0%)	38 (100.0%)

「知っている」場合

■知ったきっかけ

「遺族のつどいの存在を知っていますか」について「知っている」と答えた31人のうちのうち、知ったきっかけとしては「HP」が17人(56.7%)、次いで「その他」が8人(26.7%)、「テレビ」が3人(10.0%)、「新聞」が2人(6.7%)であった。



「その他」主な内容

- ・ 中学の先生の紹介
- ・ 講演会
- ・ 本
- ・ リーフレット

■参加してみたいと思ったか

「知っている」と答えた 31 人の方のうち、参加してみたいと思うかどうかについて、「思う」が 24 人 (77.4%)、「思わない」が 5 人 (16.1%)、「かつてはあったが今はない」が 1 人 (3.2%)、「その他」は 1 人 (3.2%) であった。

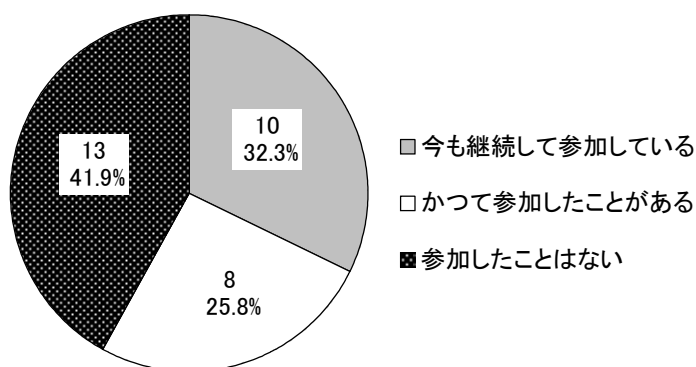
単位: 人

n=31	思う	かつては あったが今 は思わな	思わない	その他	総数
男	5 (16.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (16.1%)
女	19 (61.3%)	1 (3.2%)	5 (16.1%)	1 (3.2%)	26 (83.9%)
合計	24 (77.4%)	1 (3.2%)	5 (16.1%)	1 (3.2%)	31 (100.0%)

■参加経験

「知っている」と答えた 31 人の方のうち、「今も継続して参加している」が 10 人 (32.3%)、「かつて参加したことがある」が 8 人 (25.8%)、実際に「参加したことはない」が 13 人 (41.9%) であった。

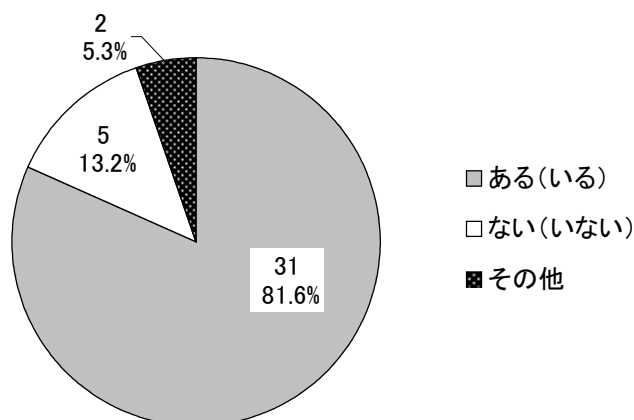
(n=31) (人)



8) 相談できるような相手・場所の有無

何かあった場合には、相談できるような相手や場所があるかについて、「ある (いる)」が 31 人 (81.6%)、「ない (いない)」が 5 人 (13.2%) であった。

(n=38) (人)

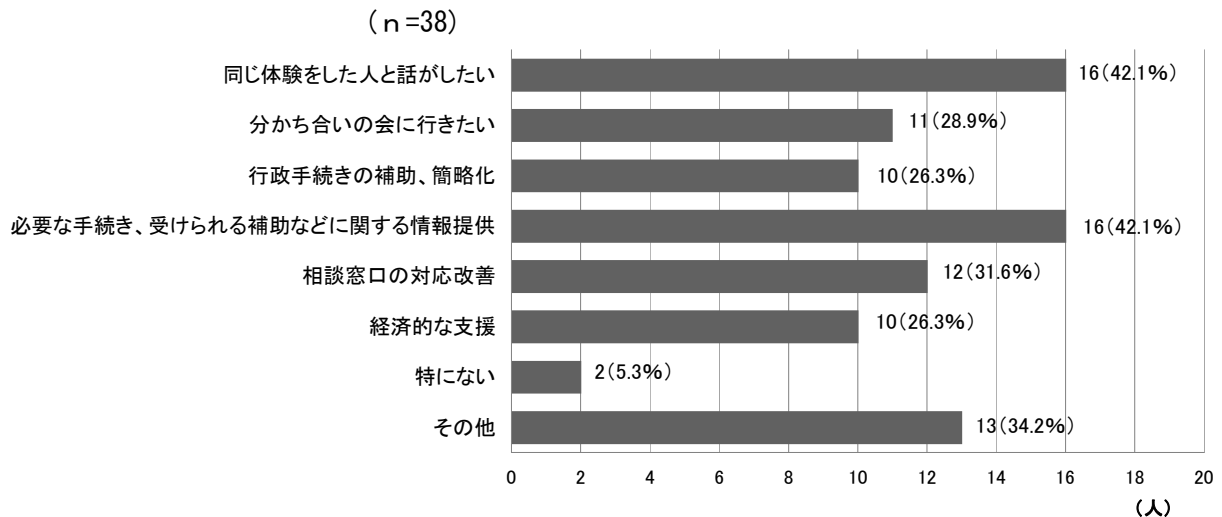


(7) 支援の要望

1) 要望について

行政、民間団体への支援の要望については、「同じ体験をした人と話がしたい」、「必要な手続き、受けられる補助などに関する情報提供」がそれぞれ 16 人（42.1%）で最も多く、次いで「その他」が 13 人（34.2%）、「相談窓口の対応改善」が 12 人（31.6%）であった。

また、実数では、「同じ体験をした人と話がしたい」「分かち合いの会に行きたい」が 38 人中 17 人（44.7%）であった。



※複数回答

「その他」主な内容

- ・分かち合いではなく、面と向かって一対一で話を聞いてほしい
- ・実態を分かってもらいたい
- ・うつ病の研究をもっとしてほしい
- ・子どもへの支援の充実

主な内容（自由記述）

- ・葬儀社からもっと情報を出してくれたらうれしい。
- ・相談に行きたがらない人、行かない人、遺族の周囲の人へも届くような啓発を進めてほしい。
- ・精神科医の能力の向上と、短い診療時間しか取れない医療制度を改善してほしい。
- ・自死遺族の生きづらさを社会に知ってもらい、全体で支えてもらえると幸いです。
- ・故人の死後、体調不良になる遺族もいるので、カウンセリングに経済的補助を望みたい。
- 自死遺族が肩身の狭い思いをしない社会の実現を。
- ・心の相談を気軽に受けられるようになればと思う。心の問題を口にできる雰囲気。
- ・つどいがもっといろいろな場所にできるとよい。
- ・“相談窓口”というのではなく、共感を持って対応してくれて、相談をした人が「話をしてよかったと安心できる場所があればと思う。
- ・分かち合いの会のスタッフの質の確保（会によって差がある）。自死に関する啓発を、もっと一般向けに。
- ・死にたいと思っている人を助けるための根を張った活動がもっと必要だと思う。

第3章 調査結果のまとめ

1 自殺者の実態

(1) 自殺者調査対象者の特性

- 性別は男性が 36 人(72.0%)、女性が 14 人(28.0%)。
- 年代別にみると、「20 歳代」14 人(28.0%)、「50 歳代」11 人(22.0%)、「30 歳代」9 人(18.0%)の順に多かった。
- 配偶者は「あり」が 27 人(54.0%)。離婚経験は「あり」が 8 人(16.0%)。
- 年代別・性別にみると、「50 歳代男性」及び「20 歳代男性」が 9 人と最も多かった。「50 歳代男性」のうち 8 人(88.9%)は配偶者あり、20 歳代男性全員が配偶者なしであった。
- 死亡時期は調査時点から「10 年以上前」13 人(26.0%)、「1～2 年以内」及び「2～3 年以内」8 人(16.0%)であった。

(2) 自殺者の仕事や収入について

- 「仕事あり」が 30 人(60.0%)、「仕事なし（就職経験なし）」が 10 人(20.0%)、「仕事なし(就職経験あり)」9 人(18.0%)であった。業種別にみると、「サービス業」が 7 人(23.3%)で最も多く、次いで「卸売・小売業・飲食業」が 5 人(16.7%)であった。
- 就業形態区分でみると、「正社員」が 16 人(53.3%)、「自営」7 人(23.3%)、「パート・アルバイト」5 人(16.7%)であった。
- 自殺による急激な収入の低下は「あり」が 13 人(26.0%)で、そのうちの 5 人が「50 歳代男性」であった。
- 借金については「あり」が 12 人(24.0%)で、そのうちの 6 人が「50 歳代男性」であった。

(3) 日常生活について

- 亡くなる前の体調については「悪かった」が 22 人(44.0%)、「あまり良くなかった」17 人(34.0%)であった。
- 飲酒の頻度は、飲む機会がある人が 31 人(62.0%)で、このうち、「よく飲む」が 14 人(28.0%)であった。
- 被虐待の経験は「あり」が 8 人(16.0%)で、女性は 14 人中 5 人(35.7%)で被虐待の経験があった。
- 自殺未遂の経験は「あり」が 17 人(34.0%)であった。また、身内を自殺で亡くした人は 14 人(28.0%)であった。

(4) 直前（亡くなる2週間前）の様子の変化について

- 変化が「あった」が33人（66.0%）、「なかった」が6人（12.0%）であった。
- 変化があったものとしては「身辺整理」15人（30.0%）、「身体症状」15人（30.0%）、「飲酒」8人（16.0%）、「睡眠」18人（36.0%）、「行動」24人（48.0%）であった。
- 自殺に関する情報への関心は「あった」が10人（20.0%）であった。
- 自殺のサインについては、「自殺をほのめかす発言」が20人（40.0%）、「その他のサイン」が30人（60.0%）で、いずれかでもサインがあった人が36人（72.0%）であった。

(5) 専門機関等への相談の状況

- 専門機関に何らかの相談をしていた人は35人（70.0%）であった。
- 相談先で多かったのは「精神科・心療内科」27人（54.0%）であった。
- 相談した機関数は、「1か所」16人（32.0%）、「2か所」9人（18.0%）であった。
- 最後に相談した時期は「亡くなる3日～2週間前」12人（30.8%）、「亡くなる2週間～1ヶ月前」8人（20.5%）であった。

(6) 自殺の状況について

- 自殺の手段は「縊死」28人（54.9%）、「飛び降り」10人（19.6%）、「薬物」4人（7.8%）であった。
- 遺書の有無は、「あり」25人（50.0%）で年代別にみると20歳代は14人中9人（64.3%）で、他の年代に比較して遺書のある割合が高かった。
- 家族が遺体を発見した場合は、「夫・妻」が8人（16.0%）、「子ども」5人（10.0%）であった。

2 自死遺族の実態

(1) 自死遺族調査対象者の特性

- 性別は「男性」8人（21.1%）、「女性」30人（78.9%）であった。
- 年代は「30歳代」13人（34.2%）、「50歳代」10人（26.3%）、「40歳代」6人（15.8%）であった。
- 故人からみた続柄は、「子ども」13人（34.2%）、「親」11人（28.9%）、「夫・妻」7人（18.4%）であった。「子ども」のうち8人（61.5%）は同居していた。
- 家族を亡くしてから期間は、「8年以上」12人（31.6%）、「1～3年以内」11人（28.9%）、「3～8年以内」7人（18.4%）であった。

(2) 困ったこと・悩んだこと

- 家族を亡くして困ったこと・悩んだことがあった人は 36 人 (94.7%) であった。
- その具体的な内容は「自分の身体、心の悩み」26 人 (72.2%)、「身内・親戚との関係」16 人 (44.4%)、「家族の健康状態の悩み」11 人 (30.6%) であった。

(3) 亡くしてから 3 か月の気持ち・体調

- 感情では「悲しみ」30 人 (78.9%)、「驚き」22 人 (57.9%)、「自責の念」21 人 (55.3%) であった。
- 体調の変化は「変化なし」が 19 人 (50.0%)、「悪くなった」14 人 (36.8%) であった。
- 睡眠および食事に変化があったのはそれぞれ 20 人 (52.6%) であった。
- 抑うつ感があったのは 26 人 (68.4%)、自分も死にたいと考えた人が 10 人 (26.3%) であった。
- その一方、体調等の変化で医療機関を受診したのは 11 人 (28.9%) であった。

(4) 現在の気持ち・体調

- 感情では「悲しみ」17 人 (44.7%)、「悔しさ」「自責の念」「疑問」がそれぞれ 14 人 (36.8%) であった。
- 「体調の変化なし」32 人 (84.2%) であった。
- 抑うつ感があるのは 23 人 (60.5%) で、自分も死にたいと考えたことがあるのは 10 人 (26.3%) であった。

(5) 周囲の反応・支援などについて

- 周囲の反応や言葉で気になるものがあったのは、「直後」は 23 人 (60.5%)、「現在」は 18 人 (47.4%) であった。
- 周囲の反応や言葉で支えになったものがあったのは、「直後」は 25 人 (65.8%)、「現在」は 22 人 (57.9%) であった。
- 関係機関の対応等に不満があったのは、「警察」13 人 (34.2%)、「医療機関（解剖含む）」8 人 (21.1%) であった。
- 遺族のつどいの存在を知っているのは 31 人 (81.6%) で、知ったきっかけは「ホームページ」17 人 (56.7%) が最も多かった。

(6) 支援の要望について

- 「同じ体験をした人と話がしたい」及び「手続きや補助等に関する情報提供」がそれぞれ 16 人 (42.1%) で、最多であった。

3 自殺防止対策・自死遺族支援の方向性について

(1) 自殺を未然に防ぐ取組について

- 自殺のハイリスク者に対して適切な支援を行うことが、自殺を未然に防ぐうえで重要である。
 - ・ 自殺者の中で、前に自殺未遂の経験を持つ方が 34.0%あり、未遂者への精神的ケアや継続的支援を行うしくみを構築することが必要。
 - ・ 身内を自殺でなくしている方が 28.0%あり、自死遺族への精神的ケアを含めた総合的支援を充実することが必要。
 - ・ 自殺者の女性のうち、被虐待の経験を持つ方が 35.7%あり、福祉・教育・保健・医療など関係各分野が連携して幼少時からの継続的な支援を行うことが必要。
- 自殺の直前の時期まで、相談機関等に相談や受診を行っていた方が多かった。幅広い分野の相談担当者等が、自殺に関する知識や自殺念慮者への適切な対応方法等の理解を深められるよう、ゲートキーパー研修等を充実することが必要である。
- 生前に何らかの自殺のサインを発していた方が7割を超えているものの、「当時は自殺のサインとは思わなかった」としている遺族が多かった。周囲の人が自殺のサインに気づき、相談機関へつなぐことができるよう、普及啓発や相談支援ネットワークを強化する必要がある。

(2) 自死遺族支援について

- 特に中年男性の自殺者の場合など、急激な収入の低下や借金などの経済的な問題を抱える遺族が多く、問題解決のための情報提供や支援の充実が必要である。情報提供については、支援に関する情報が一元的に提供できることが望ましい。
- 自死遺族の多く（94.7%）が、悩みや身体や心の問題を抱えており、また、悩みや問題が多岐にわたっている。保健・医療・福祉、教育、労働経済など、様々な分野が連携して、直後からの継続的、総合的な支援体制を構築する必要がある。特に、最初の発見者が子どもである場合などは、長期にわたる心のケアが重要である。
- また、「同じ悩みを持つ人と話をしたい」との意見が多く（44.7%）、分かち合いの会など、遺族同士が交流できる場の充実が求められる。

(3) 自殺についての理解を深めるための普及啓発について

- 自殺対策を「生きるための支援」ととらえ、自殺に対する誤解や偏見を払しょくし、都民一人ひとりが自殺予防の取組に関心を持って取り組めるよう、普及啓発を強化する必要がある。
- 自殺直後に関わる関係機関等が自死遺族に接する際に、不用意な言動等から遺族に二次被害を及ぼすことがないように、関係機関の職員が自殺や自死遺族への対応等について、理解を深める必要がある。

第4章 資料編

1 集計結果

(1) 調査の対象者数

- ・自殺者に関する調査：50人
- ・自死遺族に関する調査：38人

(2) 自殺者に関する調査結果

A. 故人について

A_2 性別

n=50	人数（人）	割合（％）
男	36	72.0%
女	14	28.0%
合計	50	100.0%

A_3 年齢

n=50	人数（人）	割合（％）
10代	1	2.0%
20代	14	28.0%
30代	9	18.0%
40代	8	16.0%
50代	11	22.0%
60代	6	12.0%
70代	1	2.0%
合計	50	100.0%

□性別×年代

n=50	年代							単位：人
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体 総数
男	1 (2.8%)	9 (25.0%)	7 (19.4%)	7 (19.4%)	9 (25.0%)	3 (8.3%)	0 (0.0%)	36 (100.0%)
女	0 (0.0%)	5 (35.7%)	2 (14.3%)	1 (7.1%)	2 (14.3%)	3 (21.4%)	1 (7.1%)	14 (100.0%)
合計	1 (2.0%)	14 (28.0%)	9 (18.0%)	8 (16.0%)	11 (22.0%)	6 (12.0%)	1 (2.0%)	50 (100.0%)

A_4 同居人

n=50	人数（人）	割合（％）
同居している人がいた	37	74.0%
同居している人がいなかった	13	26.0%
分からない	0	0.0%
合計	50	100.0%

□同居人の有無×年代×性別

n=50	年代・性別														単位：人		
	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		全体 総数		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
あり	1 (100.0%)	0 (—)	6 (66.7%)	4 (80.0%)	4 (57.1%)	1 (50.0%)	6 (85.7%)	0 (0.0%)	7 (77.8%)	2 (100.0%)	3 (100.0%)	2 (66.7%)	0 (—)	1 (100.0%)	27 (75.0%)	10 (71.4%)	37 (74.0%)
なし	0 (0.0%)	0 (—)	3 (33.3%)	1 (20.0%)	3 (42.9%)	1 (50.0%)	1 (14.3%)	1 (100.0%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (—)	0 (0.0%)	9 (25.0%)	4 (28.6%)	13 (26.0%)
合計	1 (100.0%)	0 (—)	9 (100.0%)	5 (100.0%)	7 (100.0%)	2 (100.0%)	7 (100.0%)	1 (100.0%)	9 (100.0%)	2 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	0 (—)	1 (100.0%)	36 (100.0%)	14 (100.0%)	50 (100.0%)

A_5 配偶者の有無

n=50	人数（人）	割合（％）
あり	27	54.0%
なし	23	46.0%
不明	0	0.0%
合計	50	100.0%

□配偶者の有無×年代×性別

n=50	年代・性別														全体 総数		
	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
あり	0 (0.0%)	0 (—)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (42.9%)	1 (50.0%)	6 (85.7%)	1 (100.0%)	8 (88.9%)	1 (50.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	0 (—)	1 (100.0%)	20 (55.6%)	7 (50.0%)	27 (54.0%)
なし	1 (100.0%)	0 (—)	9 (100.0%)	5 (100.0%)	4 (57.1%)	1 (50.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (—)	0 (0.0%)	16 (44.4%)	7 (50.0%)	23 (46.0%)
合計	1 (100.0%)	0 (—)	9 (100.0%)	5 (100.0%)	7 (100.0%)	2 (100.0%)	7 (100.0%)	1 (100.0%)	9 (100.0%)	2 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	0 (—)	1 (100.0%)	36 (100.0%)	14 (100.0%)	50 (100.0%)

単位：人

A_6 離婚経験

n=50	人数（人）	割合（％）
離婚経験あり	8	16.0%
離婚経験なし	42	84.0%
不明	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	50	100.0%

B. 故人の仕事・収入等について

B_1 仕事の有無

n=50	人数（人）	割合（％）
あり	30	60.0%
なし（就職経験あり）	9	18.0%
なし（就職経験なし）	10	20.0%
不明	1	2.0%
合計	50	100.0%

□仕事の有無×年代

n=50	年代							全体
	10代(n=1)	20代(n=14)	30代(n=9)	40代(n=8)	50代(n=11)	60代(n=6)	70代(n=1)	総数
あり	0 (0.0%)	6 (42.9%)	7 (77.8%)	7 (87.5%)	8 (72.7%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	30 (60.0%)
なし(就職経験あり)	0 (0.0%)	4 (28.6%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	3 (27.3%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	9 (18.0%)
なし(就職経験なし)	1 (100.0%)	4 (28.6%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (50.0%)	1 (100.0%)	10 (20.0%)
不明	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)
合計	1 (100.0%)	14 (100.0%)	9 (100.0%)	8 (100.0%)	11 (100.0%)	6 (100.0%)	1 (100.0%)	50 (100.0%)

単位：人

B_2 最後の勤務先について

(B_1で仕事ありと回答した人のうち)

□業種・業界(複数回答)

n=30	人数 (人)	割合 (%)
農業	1	3.3%
林業	0	0.0%
漁業	0	0.0%
鉱業	0	0.0%
建設業	2	6.7%
製造業	1	3.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%
運輸・情報通信業	4	13.3%
卸売・小売業・飲食業	5	16.7%
金融・保険業	0	0.0%
不動産業	0	0.0%
サービス業	7	23.3%
公務	4	13.3%
不明	0	0.0%
その他	6	20.0%
合計	30	100.0%

■その他

- ・画廊経営
- ・メディア
- ・造船業(設計)
- ・医療
- ・薬剤師
- ・予備校

□自営・社員区分(複数回答)

n=30	人数 (人)	割合 (%)
正社員	16	53.3%
パート・アルバイト	5	16.7%
契約社員	1	3.3%
派遣社員	0	0.0%
委託社員	0	0.0%
請負会社社員	0	0.0%
自営	7	23.3%
公務員	1	3.3%
不明	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	30	100.0%

B_3 故人の総収入額(月平均の手取りの総収入額)

n=50 (単位: 円)	人数 (人)	割合 (%)
100万以上	2	4.0%
80万以上～100万未満	1	2.0%
60万以上～80万未満	0	0.0%
40万以上～60万未満	3	6.0%
20万以上～40万未満	10	20.0%
1円以上～20万未満	10	20.0%
0	12	24.0%
その他	12	24.0%
合計	50	100.0%

■その他

- ・10万円+家賃補助

B_4 収入源(複数回答)

n=50	人数(人)	割合(%)
給与	27	54.0%
事業収入	3	6.0%
年金	1	2.0%
失業保険	1	2.0%
生活保護	2	4.0%
預金の切り崩し	2	4.0%
家族等からの援助	15	30.0%
その他の行政手当て (児童手当等)	0	0.0%
不明	1	2.0%
その他	5	10.0%
合計	57	114.0%

■その他

- ・パートナーの収入
- ・家族と同居
- ・奨学金
- ・アルバイト
- ・借金

B_5 故人の収入が世帯の家計全体に占める割合

n=50	人数(人)	割合(%)
100%	14	28.0%
80%～100%未満	4	8.0%
60%～80%未満	0	0.0%
40%～60%未満	3	6.0%
20%～40%未満	1	2.0%
1%～20%未満	2	4.0%
0%	15	30.0%
その他	11	22.0%
合計	50	100.0%

■その他

具体的記載なし

B_6 自殺に関連すると思われる、急激な収入の低下はありましたか

n=50	人数(人)	割合(%)
はい	13	26.0%
いいえ	36	72.0%
不明	1	2.0%
合計	50	100.0%

□急激な収入の低下の有無×年代×性別

単位:人

n=50	年代・性別														全体		
	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		総数		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
あり	0 (0.0%)	0 (—)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	5 (55.6%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (—)	0 (0.0%)	13 (36.1%)	0 (0.0%)	13 (26.0%)
なし	1 (100.0%)	0 (—)	8 (88.9%)	5 (100.0%)	4 (57.1%)	2 (100.0%)	4 (57.1%)	1 (100.0%)	4 (44.4%)	2 (100.0%)	1 (33.3%)	3 (100.0%)	0 (—)	1 (100.0%)	22 (61.1%)	14 (100.0%)	36 (72.0%)
不明	0 (0.0%)	0 (—)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (—)	0 (0.0%)	1 (2.8%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)
合計	1 (100.0%)	0 (—)	9 (100.0%)	5 (100.0%)	7 (100.0%)	2 (100.0%)	7 (100.0%)	1 (100.0%)	9 (100.0%)	2 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	0 (—)	1 (100.0%)	36 (100.0%)	14 (100.0%)	50 (100.0%)

C. 資産について

C_1 預貯金の有無

n=50	人数（人）	割合（％）
あり	23	46.0%
なし	15	30.0%
不明	9	18.0%
その他	3	6.0%
合計	50	100.0%

■その他

具体的記載なし

C_2 自殺に関連すると思われる、急激な資産の低下はありましたか

n=50	人数（人）	割合（％）
あった	4	8.0%
なかった	44	88.0%
分からない	2	4.0%
合計	50	100.0%

C_3 住宅ローンを除いた借金・ローンの有無

n=50	人数（人）	割合（％）
あり	12	24.0%
なし	36	72.0%
不明	2	4.0%
合計	50	100.0%

□ローンの有無×年代×性別

単位:人

n=50	年代・性別														全体		
	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		総数		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
あり	0 (0.0%)	0 (-)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	6 (66.7%)	1 (50.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	11 (30.6%)	1 (7.1%)	12 (24.0%)
なし	1 (100.0%)	0 (-)	8 (88.9%)	4 (80.0%)	5 (71.4%)	2 (100.0%)	6 (85.7%)	1 (100.0%)	3 (33.3%)	1 (50.0%)	1 (33.3%)	3 (100.0%)	0 (-)	1 (100.0%)	24 (66.7%)	12 (85.7%)	36 (72.0%)
不明	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (-)	0 (0.0%)	1 (2.8%)	1 (7.1%)	2 (4.0%)
合計	1 (100.0%)	0 (-)	9 (100.0%)	5 (100.0%)	7 (100.0%)	2 (100.0%)	7 (100.0%)	1 (100.0%)	9 (100.0%)	2 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	0 (-)	1 (100.0%)	36 (100.0%)	14 (100.0%)	50 (100.0%)

C_4 誰かに連帯保証人になってもらっている借金はありましたか

n=50	人数（人）	割合（％）
あり	3	6.0%
なし	45	90.0%
不明	2	4.0%
合計	50	100.0%

C_5 故人は誰かの借金の連帯保証人になっていましたか

n=50	人数（人）	割合（％）
なっていた	3	6.0%
なっていなかった	42	84.0%
不明	4	8.0%
その他	1	2.0%
合計	50	100.0%

■その他

具体的記載なし

D. 生命保険について

D_1 生命保険の加入の有無

n=50	人数（人）	割合（％）
あり	30	60.0%
なし	17	34.0%
不明	2	4.0%
その他	1	2.0%
合計	50	100.0%

■その他

具体的記載なし

D_2 経済的な問題があった場合、生命保険で

問題は緩和されましたか

n=30	人数（人）	割合（％）
全て緩和された	3	10.0%
ほぼ緩和された	1	3.3%
一部緩和された	1	3.3%
あまり緩和されなかった	0	0.0%
全く緩和されなかった	2	6.7%
問題自体がなかった	19	63.3%
不明	4	13.3%
その他	0	0.0%
合計	30	100.0%

E. その他について

E_1 亡くなる前の故人の体調はどうでしたか

n=50	人数（人）	割合（％）
良好	8	16.0%
あまり良くなかった	17	34.0%
悪かった	22	44.0%
分からない	3	6.0%
その他	0	0.0%
合計	50	100.0%

E_2 飲酒の頻度

n=50	人数（人）	割合（％）
よく飲む	14	28.0%
たまに飲む	17	34.0%
ほとんど飲まない	10	20.0%
全く飲まない	8	16.0%
分からない	1	2.0%
その他	0	0.0%
合計	50	100.0%

□飲酒の頻度×性別

							単位：人
n=50	よく飲む	たまに飲む	ほとんど 飲まない	全く飲まない	分からない	その他	総数
男	11 (30.6%)	16 (44.4%)	5 (13.9%)	3 (8.3%)	1 (2.8%)	0 (0.0%)	36 (100.0%)
女	3 (21.4%)	1 (7.1%)	5 (35.7%)	5 (35.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (100.0%)
合計	14 (28.0%)	17 (34.0%)	10 (20.0%)	8 (16.0%)	1 (2.0%)	0 (0.0%)	50 (100.0%)

E_3 喫煙の頻度

n=50	人数（人）	割合（％）
よく吸う	15	30.0%
たまに吸う	8	16.0%
ほとんど吸わない	4	8.0%
全く吸わない	22	44.0%
分からない	0	0.0%
その他	1	2.0%
合計	50	100.0%

■その他

具体的記載なし

□喫煙の頻度×性別

単位：人

n=50	よく吸う	たまに吸う	ほとんど吸わない	全く吸わない	分からない	その他	
男	12 (33.3%)	6 (16.7%)	3 (8.3%)	14 (38.9%)	0 (0.0%)	1 (2.8%)	36 (100.0%)
女	3 (21.4%)	2 (14.3%)	1 (7.1%)	8 (57.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (100.0%)
合計	15 (30.0%)	8 (16.0%)	4 (8.0%)	22 (44.0%)	0 (0.0%)	1 (2.0%)	50 (100.0%)

E_4 ギャンブルの経験の有無（複数回答）

n=50	人数（人）	割合（％）
パチンコ	6	12.0%
スロット	1	2.0%
競馬	2	4.0%
競輪	0	0.0%
競艇	0	0.0%
ギャンブルの経験はない	41	82.0%
不明	2	4.0%
その他	0	0.0%
合計	52	104.0%

E_5 被虐待の経験

n=50	人数（人）	割合（％）
あり	8	16.0%
なし	32	64.0%
不明	1	2.0%
無回答	9	18.0%
合計	50	100.0%

■その他

具体的記載なし

□被虐待の経験×性別

被虐待の経験					単位:人
n=50	あり	なし	不明	無回答	全体 総数
男	3 (8.3%)	24 (66.7%)	1 (2.8%)	8 (22.2%)	36 (100.0%)
女	5 (35.7%)	8 (57.1%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	14 (100.0%)
合計	8 (16.0%)	32 (64.0%)	1 (2.0%)	9 (18.0%)	50 (100.0%)

E_6 自殺未遂の経験

n=50	人数 (人)	割合 (%)
あり	17	34.0%
なし	27	54.0%
不明	6	12.0%
合計	50	100.0%

□自殺未遂の経験×年代×性別

年代・性別																	単位:人
n=50	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		全体 総数		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
あり	1 (100.0%)	0 (—)	3 (33.3%)	2 (40.0%)	3 (42.9%)	1 (50.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	2 (22.2%)	1 (50.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (—)	1 (100.0%)	12 (33.3%)	5 (35.7%)	17 (34.0%)
なし	0 (0.0%)	0 (—)	5 (55.6%)	1 (20.0%)	3 (42.9%)	0 (0.0%)	6 (85.7%)	0 (0.0%)	7 (77.8%)	1 (50.0%)	1 (33.3%)	3 (100.0%)	0 (—)	0 (0.0%)	22 (61.1%)	5 (35.7%)	27 (54.0%)
不明	0 (0.0%)	0 (—)	1 (11.1%)	2 (40.0%)	1 (14.3%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (—)	0 (0.0%)	2 (5.6%)	4 (28.6%)	6 (12.0%)
合計	1 (100.0%)	0 (—)	9 (100.0%)	5 (100.0%)	7 (100.0%)	2 (100.0%)	7 (100.0%)	1 (100.0%)	9 (100.0%)	2 (100.0%)	3 (100.0%)	3 (100.0%)	0 (—)	1 (100.0%)	36 (100.0%)	14 (100.0%)	50 (100.0%)

E_7 故人にとっての身内で自殺で亡くなった方はいますか

n=50	人数 (人)	割合 (%)
いる	14	28.0%
いない	34	68.0%
不明	2	4.0%
合計	50	100.0%

□自殺未遂の経験×身内の自殺者の有無

自殺未遂の経験				単位:人
n=50	あり	なし	不明	全体 総数
身内に自殺者あり	9 (64.3%)	5 (35.7%)	0 (0.0%)	14 (100.0%)
身内に自殺者なし	7 (20.6%)	21 (61.8%)	6 (17.6%)	34 (100.0%)
不明	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)
合計	17 (34.0%)	27 (54.0%)	6 (12.0%)	50 (100.0%)

F. 直前の様子

F_1 何か変わった様子がありましたか

n=50	人数（人）	割合（％）
あった	33	66.0%
なかった	6	12.0%
分からない	11	22.0%
その他	0	0.0%
合計	50	100.0%

「あった」の場合⇒どのような内容でしたか。

n=33	人数（人）	割合（％）
集中力・注意力の減退	15	45.5%
自己評価・自信の低下	15	45.5%
罪悪感・無価値感	8	24.2%
将来に対する悲観的な見方	13	39.4%
自傷行為	1	3.0%
睡眠障害	8	24.2%
食欲不振	3	9.1%
その他	14	42.4%
合計	77	233.3%

■その他

- ・飲酒する時間が長い
- ・元気がなかった
- ・無表情

F_2 自殺に関する情報への関心

n=50	人数（人）	割合（％）
あった	10	20.0%
なかった	23	46.0%
分からない	17	34.0%
その他	0	0.0%
合計	50	100.0%

F_3 身辺整理

n=50	人数（人）	割合（％）
あった	15	30.0%
なかった	28	56.0%
分からない	6	12.0%
その他	1	2.0%
合計	50	100.0%

■その他

- ・未遂時にまとめていた

F_4 身体症状の変化について

n=50	人数（人）	割合（％）
あった	15	30.0%
なかった	24	48.0%
分からない	10	20.0%
その他	1	2.0%
合計	50	100.0%

■その他

具体的記載なし

**F_5 食事の量や時間など、食事に関わる様子の
変化はありましたか**

n=50	人数（人）	割合（％）
あった	13	26.0%
なかった	20	40.0%
分からない	17	34.0%
その他	0	0.0%
合計	50	100.0%

**F_6 飲酒の量や頻度など、飲酒に関わる様子の
変化はありましたか**

n=50	人数（人）	割合（％）
あった	8	16.0%
なかった	33	66.0%
分からない	9	18.0%
その他	0	0.0%
合計	50	100.0%

**F_7 喫煙の頻度など、喫煙に関わる様子の
変化はありましたか**

n=50	人数（人）	割合（％）
あった	3	6.0%
なかった	36	72.0%
分からない	8	16.0%
その他	3	6.0%
合計	50	100.0%

■その他

具体的記載なし

F_8 睡眠の変化

n=50	人数（人）	割合（％）
あった	18	36.0%
なかった	13	26.0%
分からない	18	36.0%
その他	1	2.0%
合計	50	100.0%

■その他

・ずっと問題あり

F_9 行動の変化

n=50	人数（人）	割合（％）
あった	24	48.0%
なかった	11	22.0%
分からない	15	30.0%
その他	0	0.0%
合計	50	100.0%

**F_10 「死にたい」、「消えたい」をほのめ
かすような発言はありましたか**

n=50	人数（人）	割合（％）
あった	20	40.0%
なかった	20	40.0%
分からない	9	18.0%
その他	1	2.0%
合計	50	100.0%

■その他

・一か月前に妻に「僕はもういいかな？仕事もしたし、結婚もした」と言った。

□希死念慮をほのめかす言葉の有無×性別

単位:人

	希死念慮をほのめかす言葉				全体
n=50	あった	なかった	分からない	その他	総数
男	10 (27.8%)	16 (44.4%)	9 (25.0%)	1 (2.8%)	36 (100.0%)
女	10 (71.4%)	4 (28.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (100.0%)
合計	20 (40.0%)	20 (40.0%)	9 (18.0%)	1 (2.0%)	50 (100.0%)

F_11 その他に、故人は自殺のサインを発していたと思いますか

n=50	人数 (人)	割合 (%)
思う	30	60.0%
思わない	11	22.0%
不明	9	18.0%
合計	50	100.0%

□自殺のサインの有無×性別

単位:人

	自殺のサイン			全体
n=50	思う	思わない	不明	総数
男	20 (55.6%)	9 (25.0%)	7 (19.4%)	36 (100.0%)
女	10 (71.4%)	2 (14.3%)	2 (14.3%)	14 (100.0%)
合計	30 (60.0%)	11 (22.0%)	9 (18.0%)	50 (100.0%)

その当時の段階でもそれが自殺のサインだと思いましたか

(F_10, F_11いずれかにおいてサインがあった場合)

n=36	人数 (人)	割合 (%)
思った	8	22.2%
思わなかった	22	61.1%
覚えていない	0	0.0%
その他	6	16.7%
合計	36	100.0%

■その他

- ・違和感があった
- ・思ったかもしれない

□当時自殺のサインと思ったか×性別

単位:人

	当時自殺のサインと思ったか			全体
n=36	思った	思わなかった	その他	総数
男	4 (16.7%)	16 (66.7%)	4 (16.7%)	24 (100.0%)
女	4 (33.3%)	6 (50.0%)	2 (16.7%)	12 (100.0%)
合計	8 (22.2%)	22 (61.1%)	6 (16.7%)	36 (100.0%)

G. 援助希求

G_1 故人は悩み、問題に関してどこかに相談をしていましたか（複数回答）

n=50	人数（人）	割合（％）
精神科・心療内科の医療機関	27	54.0%
その他の医療機関	14	28.0%
法律専門家	2	4.0%
公的相談機関	5	10.0%
民間相談機関	3	6.0%
いのちの電話	1	2.0%
職場	2	4.0%
学校	0	0.0%
知人・友人	4	8.0%
家族	10	20.0%
その他	2	4.0%
どこにも相談していない	9	18.0%
分からない	2	4.0%
合計	81	162.0%

■その他
・警察

相談先数

n=50	人数（人）	割合（％）
1 か所	16	32.0%
2 か所	9	18.0%
3 か所	7	14.0%
4 か所	2	4.0%
5 か所以上	5	10.0%
どこにも相談していない	9	18.0%
分からない	2	4.0%
合計	50	100.0%

最後の相談時期

n=39	人数（人）	割合（％）
亡くなる1年以上前	5	12.8%
亡くなる1年～半年前	1	2.6%
亡くなる半年～1か月前	4	10.3%
亡くなる1か月前～2週間前	8	20.5%
亡くなる2週間前～3日前	12	30.8%
亡くなる前3日以内	5	12.8%
当日	2	5.1%
その他	2	5.1%
合計	39	100.0%

■その他

具体的記載なし